

壁面緑化 ワイヤーブラケットシステム

[WIRE BRACKET SYSTEM]

施工手順

マルチタイプ

WB-M type



ベース金具を軸として、上下・左右、斜め、最大4方向にワイヤー展開が可能です。幅広い緑化デザインを可能にするマルチタイプです。

● 製品紹介

● 製品図面

● 施工方法

● 注意事項

● 点検 & メンテナンス

壁面緑化ワイヤーブラケットシステム

マルチタイプ [WB-M]

ベース金具を軸として、上下・左右、斜め、最大4方向にワイヤー展開が可能。

多方向にワイヤーを展開し、グリッドやダイヤ柄などワイヤーでデザインされた壁面に植栽を美しく生育させることができます。

様々な設置条件に対して幅広い緑化デザインを可能にし、建築の意匠性を格段に引き出すラインアップです。

2ウェイ以上の場合は、他のタイプよりもベース金具を数多く壁面にアンカー施工する仕様となります。比較的、システム全体の使用荷重を多く設定することが可能なラインアップです。

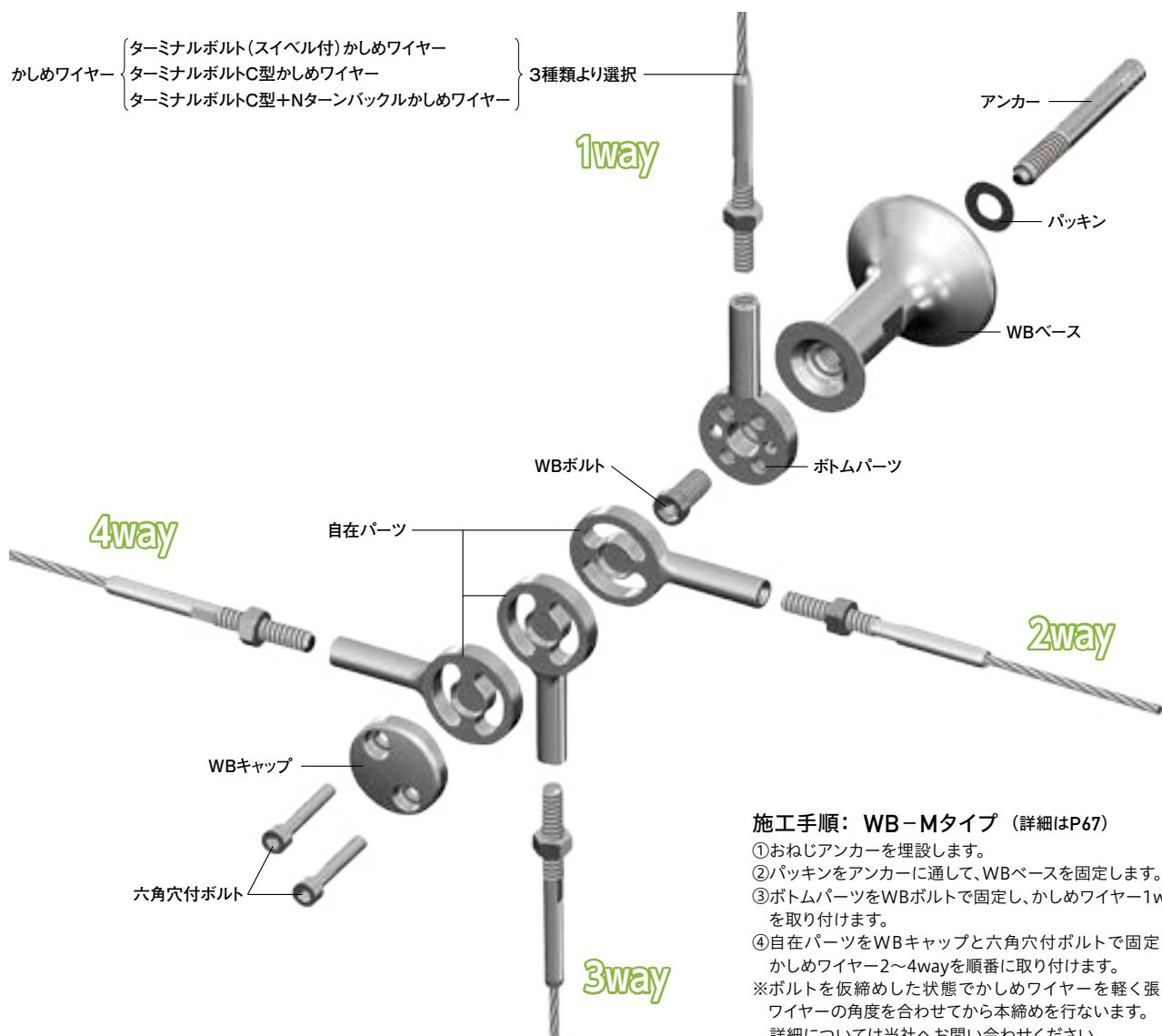


- ・施設のイメージアップ、地域のランドマーク化を目的とした壁面緑化
- ・企業が環境CSRをPRすることを目的とした壁面緑化
- ・緑化植栽を数多く生育させるため、使用荷重を大きく設定したい場合



マルチタイプ[WB-M] パーツ展開図

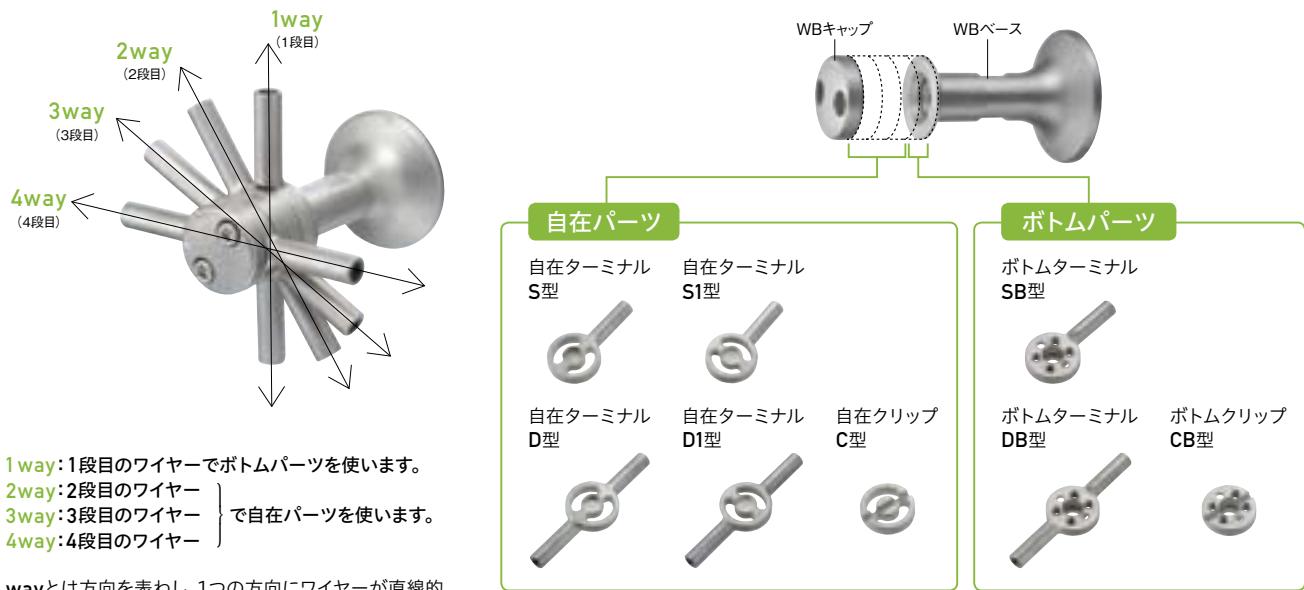
各パーツの詳細情報⇒ P16[使用パーツ一覧]



施工手順： WB-Mタイプ（詳細はP67）

- ①おねじアンカーを埋設します。
 - ②パッキンをアンカーに通して、WBベースを固定します。
 - ③ボトムパートをWBボルトで固定し、かしめワイヤー1wayを取り付けます。
 - ④自在パーツをWBキャップと六角穴付ボルトで固定し、かしめワイヤー2~4wayを順番に取り付けます。
- *ボルトを仮締めした状態でかしめワイヤーを軽く張り、ワイヤーの角度を合わせてから本締めを行ないます。
詳細については当社へお問い合わせください。

WBベースに「自在パーツ」と「ボトムパート」を組み合わせてワイヤーを多方向に展開します。



wayとは方向を表わし、1つの方向にワイヤーが直線的に通るということを意味します。最大で4wayまで施工可能です。

マルチタイプ [WB-M]

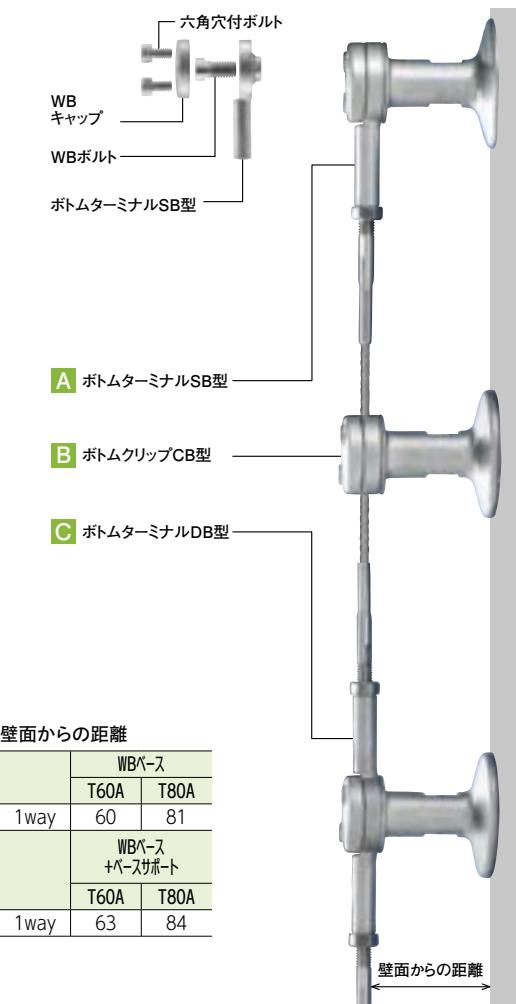
1ウェイライン 1way line

ワイヤーを1本ずつ張る1ウェイライン。
マルチタイプの中では最も簡単な組合せになります。



※1.上下WBベース間の寸法は5m以内が基準です。

※2.ターミナルボルトC型かしめワイヤーの場合、上側にベースサポートを使用して下側にNターンバックル付かしめワイヤーを使用することで、最長10mまで可能です。



- [A] ボトムターミナルSB型を使って1本張ることができます。
- [B] ボトムクリップCB型を途中に設けて補強できます。
- [C] ボトムターミナルDB型でワイヤーを連結できます。
- [D] ベースサポートを使用する事で強度が上がります。

参考設計価格 ※かしめワイヤー:
ターミナルボルトC型を使用する場合
(税抜)

$$W5m \times H5m = 25m^2$$

T60A仕様

$$\text{¥}14,600/m^2$$

T80A仕様

$$\text{¥}15,900/m^2$$

$$W2m \times H2m = 4m^2$$

T60A仕様

$$\text{¥}37,800/m^2$$

T80A仕様

$$\text{¥}41,200/m^2$$

他のパターンの参考設計価格もご確認ください。
⇒P36「参考設計価格一覧」

2ウェイクロスライン 2way cross line

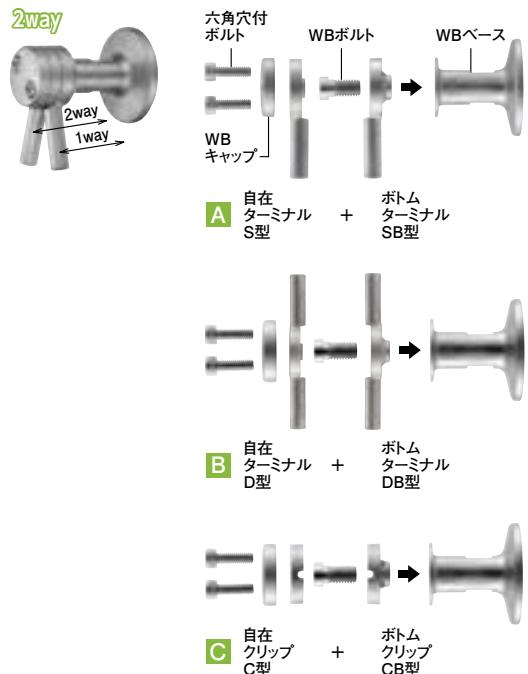
ワイヤーを斜め方向にクロスさせる2ウェイクロスライン。
斜めにクロスすることで美観に優れ、壁面をデザインします。



※1.2方向の角度は60°以上が基準です。

※2.上下WBベース間の寸法は4m以内が基準です。

※3.ターミナルボルトC型かしめワイヤーの場合、上側にベースサポートを使用して下側にNターンパックル付かしめワイヤーを使用することで、最長8mまで可能です。



壁面からの距離

	WBベース	
	T60A	T80A
1way	60	81
2way	63	84
WBベース +ベースサポート		
	T60A	
	63	84
2way	66	87

A 自在ターミナルS型+ボトムターミナルSB型を使って2本張ることができます。

B 自在ターミナルD型+ボトムターミナルDB型でワイヤーを連結します。

C 自在クリップC型+ボトムクリップCB型を途中に設けて補強できます。

参考設計価格

※かしめワイヤー: ターミナルボルトC型を使用する場合
(税抜)

W4m×H4m=16m²

T60A仕様
¥32,700/m²

T80A仕様
¥34,800/m²

W2m×H2m=4m²

T60A仕様
¥64,000/m²

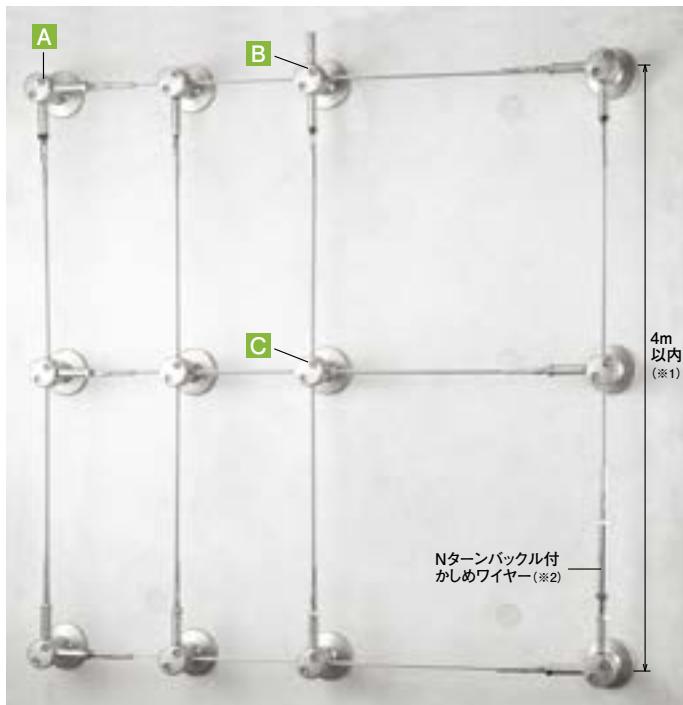
T80A仕様
¥68,400/m²

他のパターンの参考設計価格もご確認ください。
⇒P36「参考設計価格一覧」

マルチタイプ [WB-M]

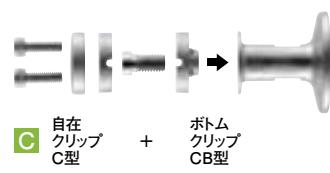
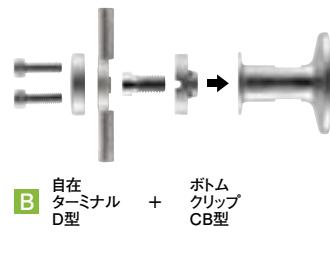
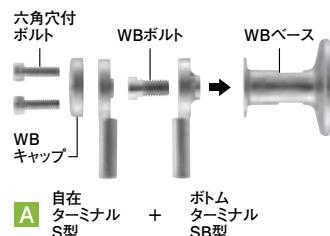
2ウェイグリッドライン 2way grid line

ワイヤーを垂直方向にクロスさせる2ウェイグリッドライン。
グリッド間にネットやメッシュを取り付けることも可能です。



※1.上下WBベース間の寸法は4m以内が基準です。

※2.ターミナルボルトC型かしめワイヤーの場合、上側にベースサポートを使用して下側にNターンバックル付かしめワイヤーを使用することで、最長8mまで可能です。



壁面からの距離

	WBベース	
	T60A	T80A
1way	60	81
2way	63	84
WBベース +ベースサポート		
	WBベース +ベースサポート	
	T60A	T80A
1way	63	84
2way	66	87

A 自在ターミナルS型+ボトムターミナルSB型を使って2本張ることができます。

B 自在ターミナルD型+ボトムクリップCB型でワイヤーを連結します。

C 自在クリップC型+ボトムクリップCB型を途中に設けて補強できます。



参考設計価格

※かしめワイヤー: ターミナルボルトC型を使用する場合
(税抜)

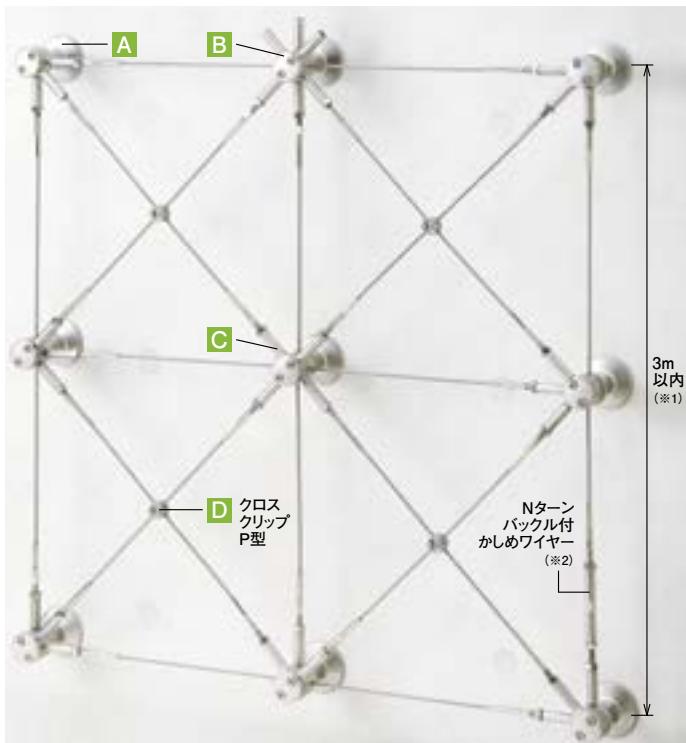
W4m×H4m=16m ²	
T60A仕様	¥38,100/m ²
T80A仕様	¥41,200/m ²

W2m×H2m=4m ²	
T60A仕様	¥75,500/m ²
T80A仕様	¥81,700/m ²

他のパターンの参考設計価格もご確認ください。
⇒P36「参考設計価格一覧」

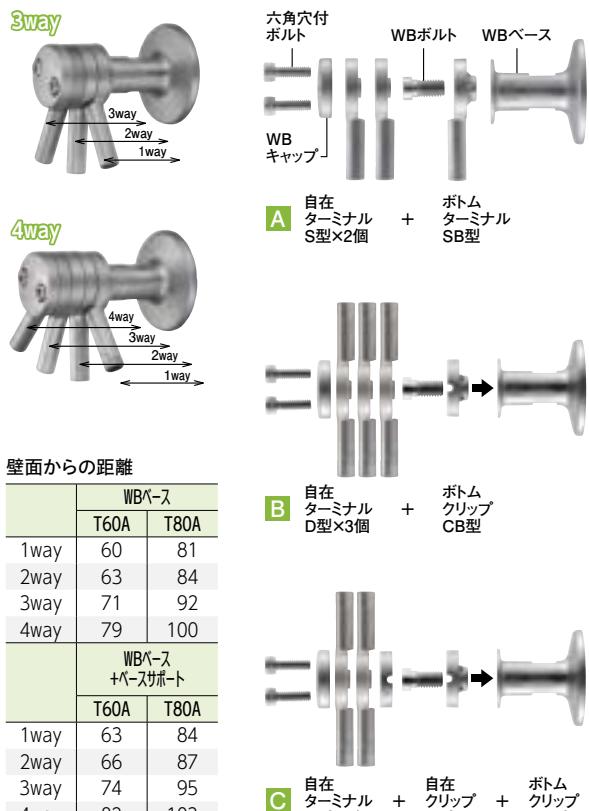
3ウェイ+4ウェイライン 3way+4way line

垂直方向+斜め方向にワイヤーを展開する3ウェイ+4ウェイライン。
多彩に壁面をアレンジします。



※1.上下WBベース間の寸法は3m以内が基準です。

※2.ターミナルボルトC型かしめワイヤーの場合、上側にベースサポートを使用して下側にNターンバックル付かしめワイヤーを使用することで、最長6mまで可能です。



壁面からの距離

	WBベース	
	T60A	T80A
1way	60	81
2way	63	84
3way	71	92
4way	79	100

	WBベース + ベースサポート	
	T60A	T80A
1way	63	84
2way	66	87
3way	74	95
4way	82	103

A 自在ターミナルS型×2個+ボトムターミナルSB型を使って3本張ることができます。

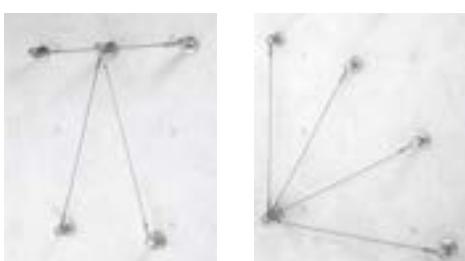
B 自在ターミナルD型×3個+ボトムクリップCB型でワイヤーを連結できます。

C 自在ターミナルD型×2個+自在クリップC型+ボトムクリップCB型を使い、4本を交差させることができます。

D ワイヤーが直交する場合、クロスクリップP型(⇒P29)を使って、ワイヤー同士を固定できます。

<アレンジ例②>

マルチタイプを使用して、様々なワイヤーデザインが可能です。



1ウェイ+3ウェイ

1ウェイ+4ウェイ



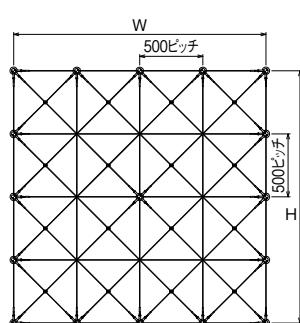
2ウェイ



1ウェイ+4ウェイ

参考設計価格

※かしめワイヤー：ターミナルボルトC型を使用する場合
(税抜)



$$W3m \times H3m = 9m^2$$

T60A仕様
¥38,000/m²
T80A仕様
¥39,800/m²

$$W2m \times H2m = 4m^2$$

T60A仕様
¥56,600/m²
T80A仕様
¥59,200/m²

他のパターンの参考設計価格もご確認ください。
⇒P36「参考設計価格一覧」

マルチタイプ [WB-M]

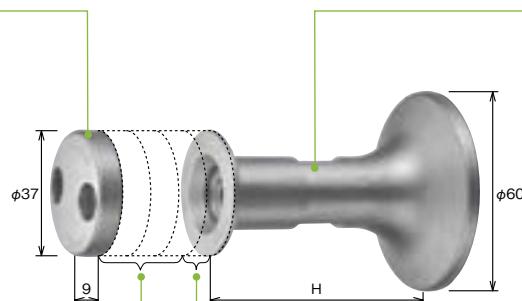
使用パート一覧

WBキャップ

WB Cap

No.	重量(g)
AK15860	33

※材質:SCS14
(SUS316相当)



WBベース

WB Base

No.	サイズ	H	重量(g)
AK15801	T60A	54	180
AK15802	T80A	75	230

※材質:SCS14(SUS316相当)
壁面への取付は、おねじアンカーM10を使用してください。

自在パート

Free Terminal

自在ターミナル S型

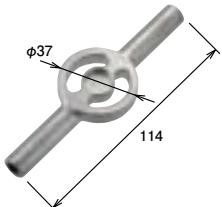


自在ターミナル S1型



●自在パートはボトムパートの上に固定します。

自在ターミナル D型



自在ターミナル D1型



自在クリップ C型



自在パート	No.		重量(g)
	右ねじ	左ねじ	
S型	AK15846	AK15846L	65
S1型	AK15847	AK15847L	65
D型	AK15851	AK15851L	85
D1型	AK15852	AK15852L	85
自在クリップ C型	AK15841		40

※材質:SCS14(SUS316相当)

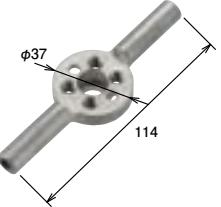
ボトムパート

Bottom Terminal

ボトムターミナル SB型



ボトムターミナル DB型



●ボトムパートはWBベースの上に固定します。

ボトムクリップ CB型



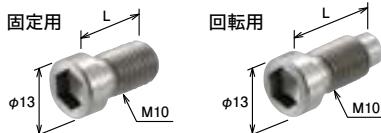
ボトムパート	No.		重量(g)
	右ねじ	左ねじ	
ボトムターミナル SB型	AK15826	AK15826L	70
DB型	AK15831	AK15831L	90
ボトムクリップ CB型	AK15821		47

※材質:SCS14(SUS316相当)

※自在ターミナル、ボトムターミナルにはそれぞれ右ねじ・左ねじがあります。かしめワイヤーの仕様により使い分けてください。
※組合せによってはワイヤーを張れない角度がございます。あらかじめ当社へお問い合わせください。

WBボルト

WB Bolt



No.	サイズ	L	六角レンチ径	重量(g)
AK15875	固定用	18	8	12
AK15876	回転用	22	8	14

※材質:SUS304

WBボルトをねじ込んで、ボトムパートの位置を固定する場合は「固定用」を、位置を自由に回転させる場合は「回転用」を使用します。

六角穴付ボルト

Cap Screw

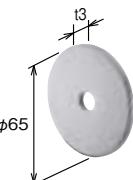


No.	L	重量(g)	備考
AK15941-10	10	5	1way用
AK15941-18	18	6	2way用
AK15941-25	25	7	3way用
AK15941-35	35	9	4way用

※材質:SUS304
自在パートとWBキャップを固定するボルトです。

φ65座金

φ65 Washer

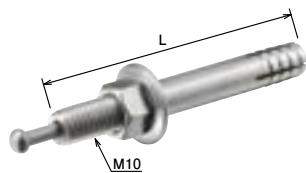


No.	サイズ	重量(g)
AK15473-65	M10用	74

※材質:SUS304
WBベースの座金としてALC壁面やサイディングなどに使用します。

アンカー

Anchor



No.	L	重(g)	備考
AK15792-50	50	35	WBベース T60A用
AK15792-80	80	50	WBベース T80A用

※材質:SUS304 芯構打込式ねじアンカー

タップスター

Tap Star



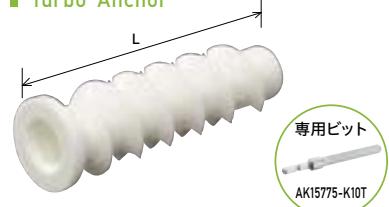
No.	L	重(g)	備考
AK15772-60	60	50	
AK15772-80	80	62	コンクリート用

※材質:SUS410 ナット:SUS304

※タップスター用専用ソケットが必要となります。

ターボアンカー

Turbo Anchor



No.	L	重(g)	備考
AK15775-K10	70	15	ALC壁面用

※材質:ナイロン

※タップスターとセットで使用してください。

尚、ターボアンカー用専用ビットが必要となります。

パッキン

Rubber Packing

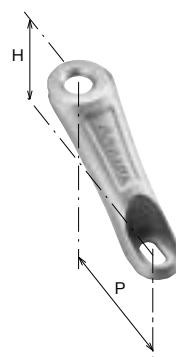


No.	サイズ	重(g)
AK15880	M10用	0.6

※材質:ゴム(EPDM)

ベースサポート

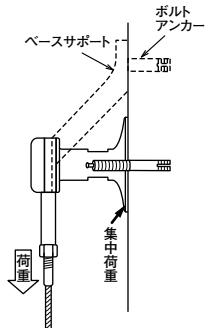
Base Support



ベースサポートは
WBベースとボト
ムマウントの間に組
み付けます。

No.	サイズ	H	P	重(g)
AK15870	60	57	60	115
AK15871	80	78	80	145

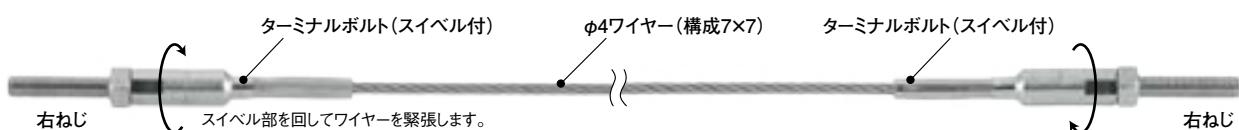
※材質:SCS14(SUS316相当)
壁面への取付は、M10アンカーを使用してください。

**かしめワイヤー**

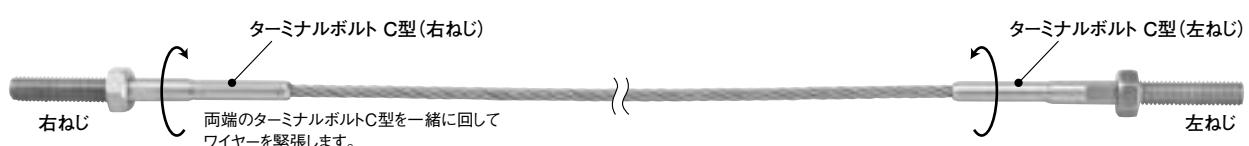
Swaged Wire

◎下記の様に、様々なかしめワイヤーを選択できます。

①ターミナルボルト(スイベル付)かしめワイヤー：自在ターミナルやボトムターミナルを右ねじだけ使用する場合。



②ターミナルボルトC型かしめワイヤー：自在ターミナルやボトムターミナルを右ねじ+左ねじで使用する場合。



③ターミナルボルトC型+Nターンバックルかしめワイヤー：ワイヤーが長い場合に使用します。



使用荷重について 壁面緑化ワイヤーブラケットシステム

壁面緑化を施工する際は、登はんさせる植物（ヘデラやアサガオ等）が成育した場合の重さを考慮する必要があります。

また、植物の重さに加えて、風による影響や雨・雪による重さも重要な要素となります。

当社ワイヤーブラケットシステムの使用荷重は、それぞれ下表のように設定しておりますが、その使用荷重以上の重さがかかる場合は、1m²あたりの使用個数を増やす等の安全を考慮してください。



	WB-M							
	1 way	2 way	3 way	4 way				
ターミナルの場合					ベースサポートなし	ベースサポート付	ベースサポートなし	ベースサポート付
WBベース T60Aの場合	300kg	600kg	250kg	500kg	200kg	400kg	150kg	300kg
WBベース T80Aの場合	250kg	500kg	200kg	400kg	150kg	300kg	100kg	200kg
クリップの場合								
WBベース T60Aの場合	30kg	30kg	30kg	30kg				
WBベース T80Aの場合	30kg	30kg	30kg	30kg				

	WB-C	WB-L	WB-S
		WBベース取付部	化粧ねじ板
		ベースサポートなし	ベースサポート付
WBベース T60Aの場合	30kg	200kg	400kg
WBベース T80Aの場合	30kg	150kg	300kg
WBベース S80Aの場合	-	100kg	-
		200kg	WBベースなしの場合
		150kg	250kg
		80kg	150kg

※記載使用荷重については、アンカー部を固定した場合のデータになります。実際に施工する場合は、軸体の強度が十分耐えうることを確認した上で施工を行なってください。

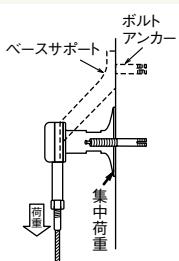
ベースサポートについて

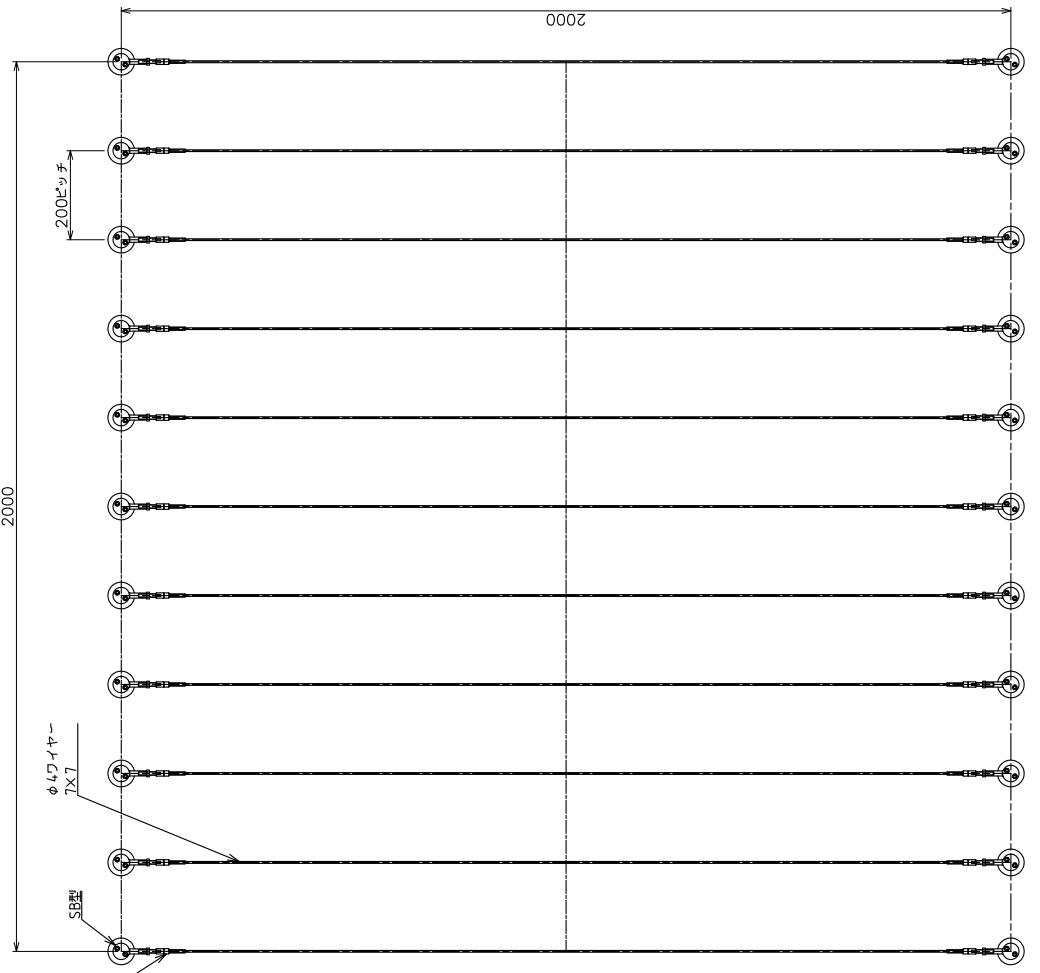
集中荷重によって壁面に負担をかけないよう、ベースサポートで荷重を分散させます。
ワイヤーの上側（荷重がかかる側）のWBベースに使用してください。



WB-Mタイプ:
ベースサポートはWBベースとボトムパーツの間に組付け。

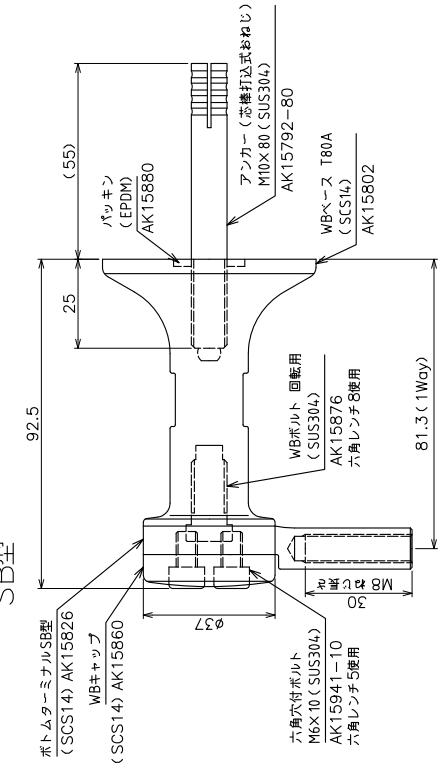
WB-Lタイプ:
ベースサポートはWBベースとLジョイント（アングル）の間に組付け。





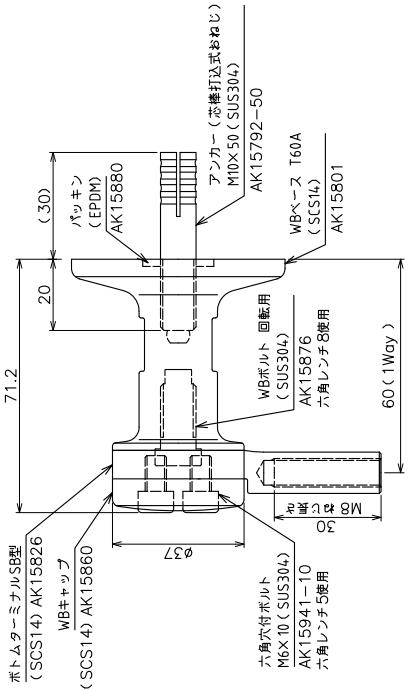
< WBベース T80A仕様 > (S=1:1)

SB型



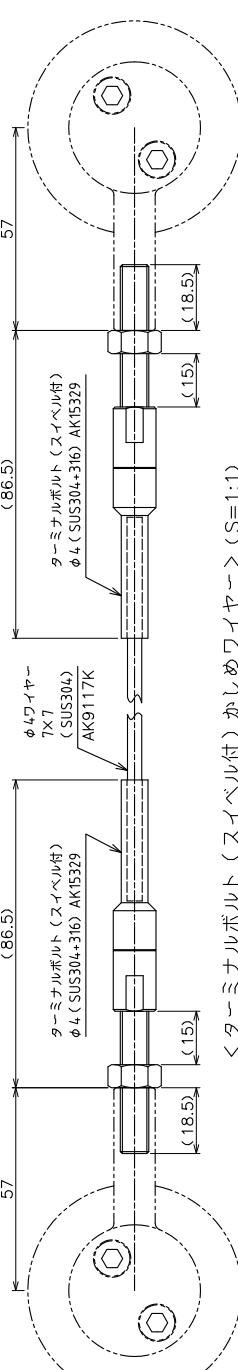
< WBベース T60A仕様 > (S=1:1)

SB型



< WBベース T60A仕様 > (S=1:1)

SB型



< WBベース T60A仕様 > (S=1:1)

SB型

品番	WB-M 1Way(スイベル付)	仕様	2M×2M 補助ステンレス
型式	WB102	規格	WB102K1-A R 1:8

注1)ボトムターミナルは、右ねじのみ使用してください。
(左ねじは裏付けです。)

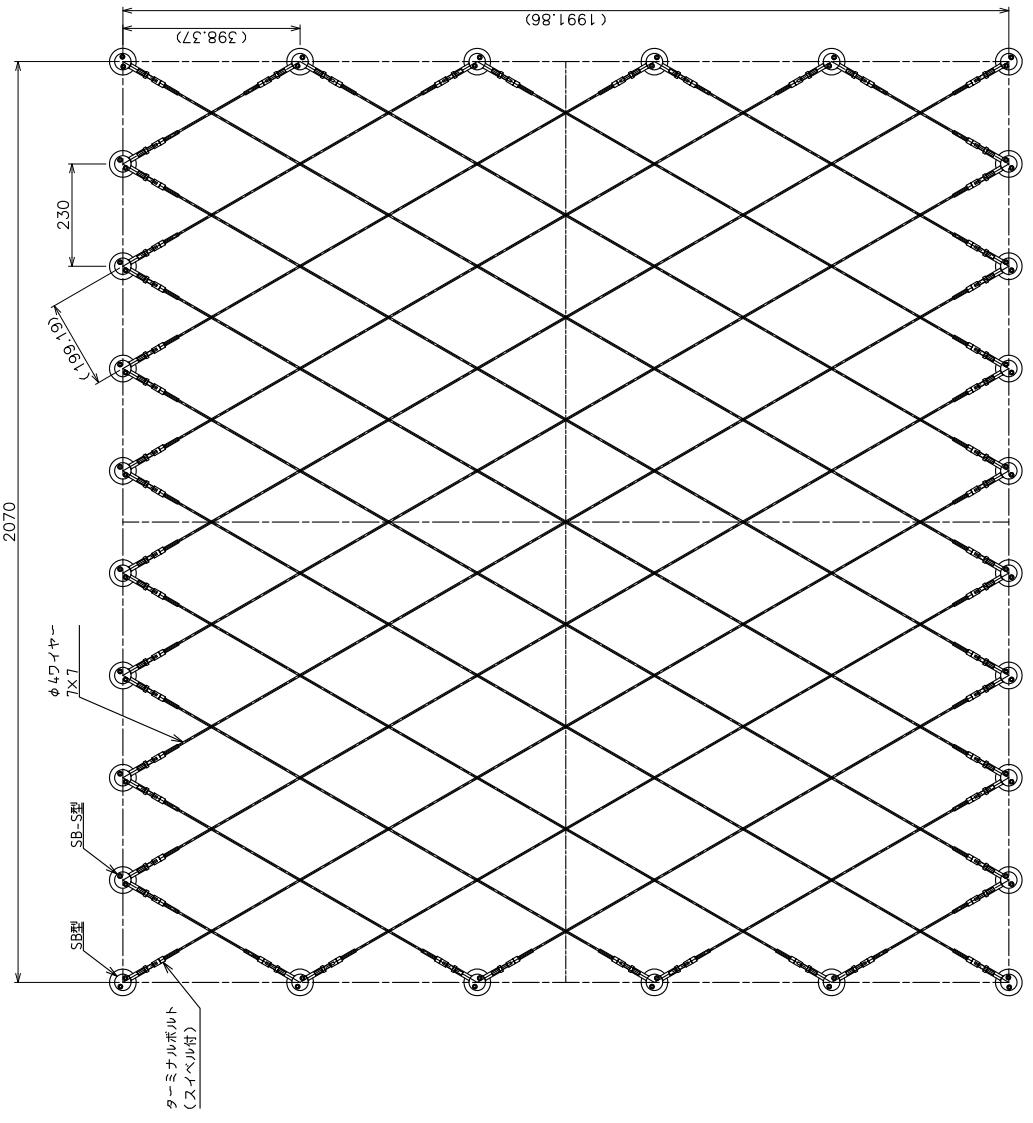
品番 WB-M 1Way(スイベル付) 仕様 2M×2M 補助ステンレス

型式 WB102 規格 WB102K1-A R 1:8

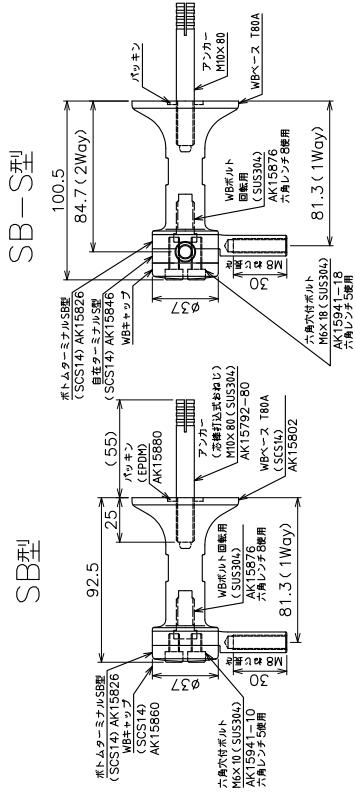
作成年月 '14.10.10

ASIANO 洋野金属工業株式会社

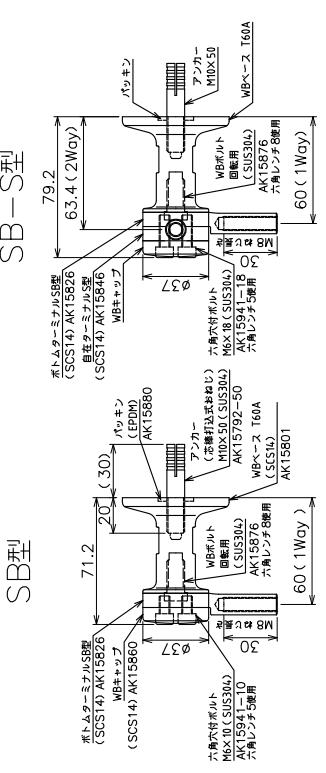
2070



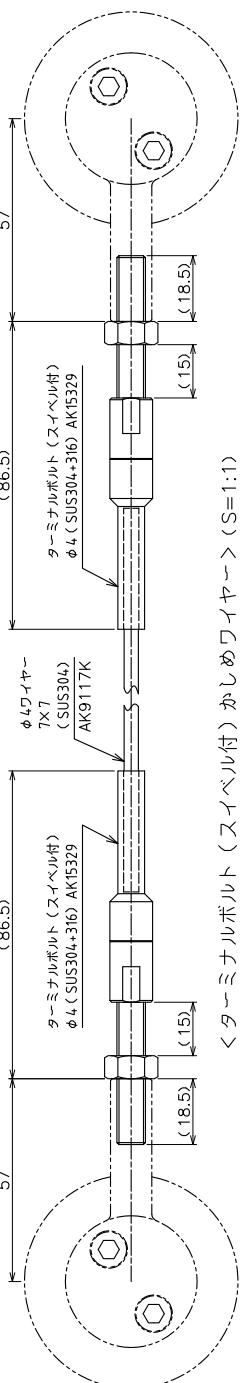
< WBベース T80A仕様 > (S=1:2)



< WBベース T60A仕様 > (S=1:2)



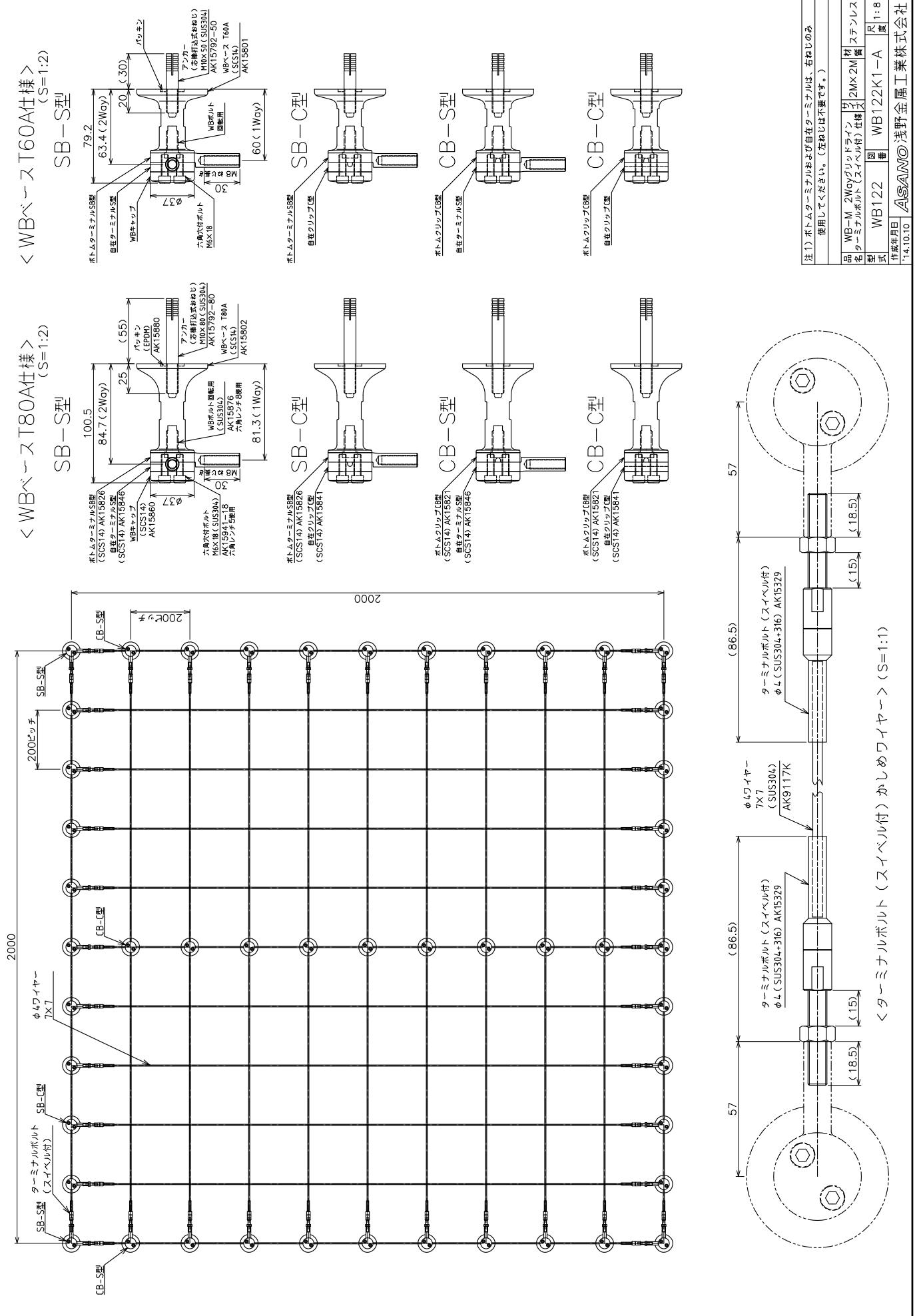
注1) ボトムターミナルおよび自立ターミナルは、それじののみ
使用してください。(左ねじは不要です。)

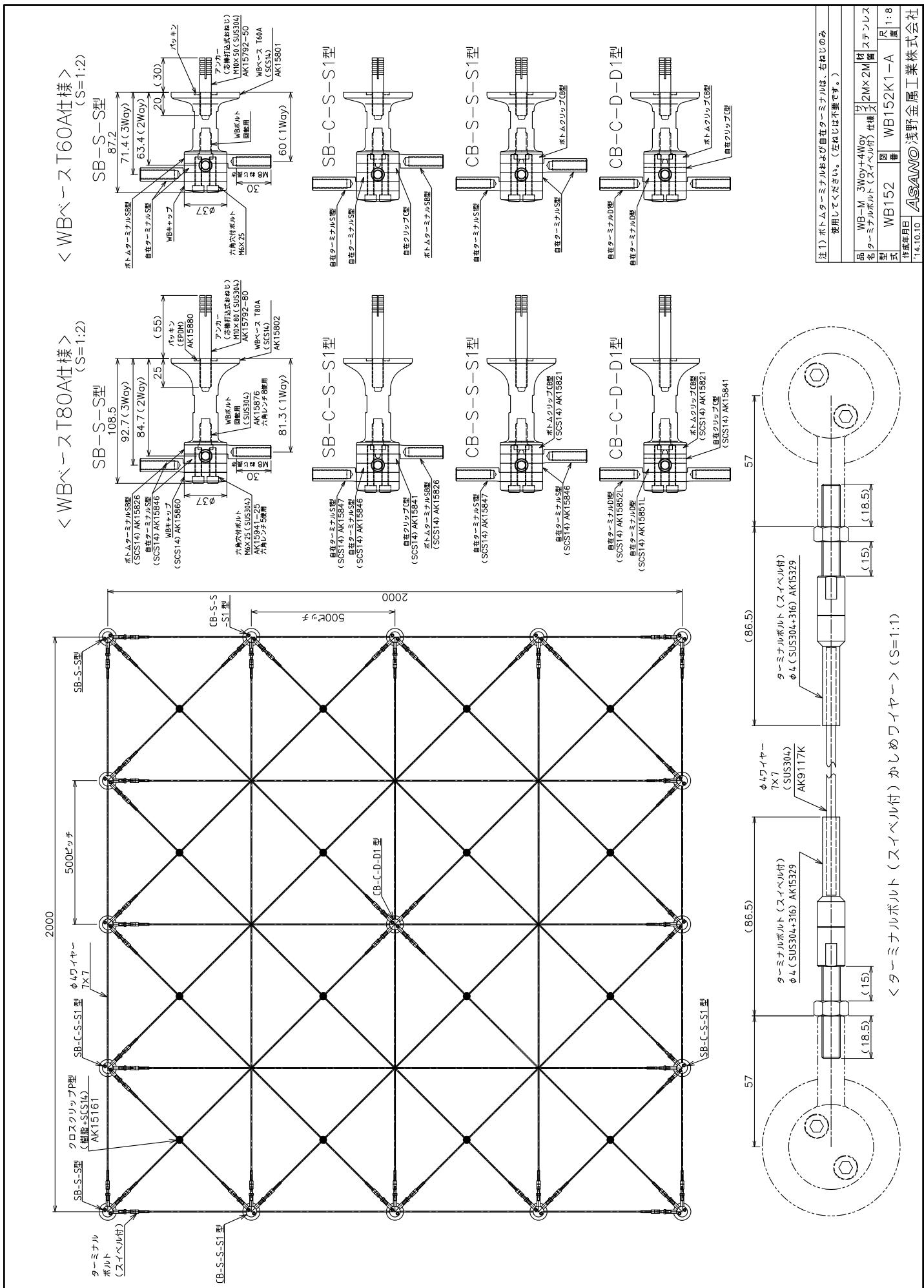


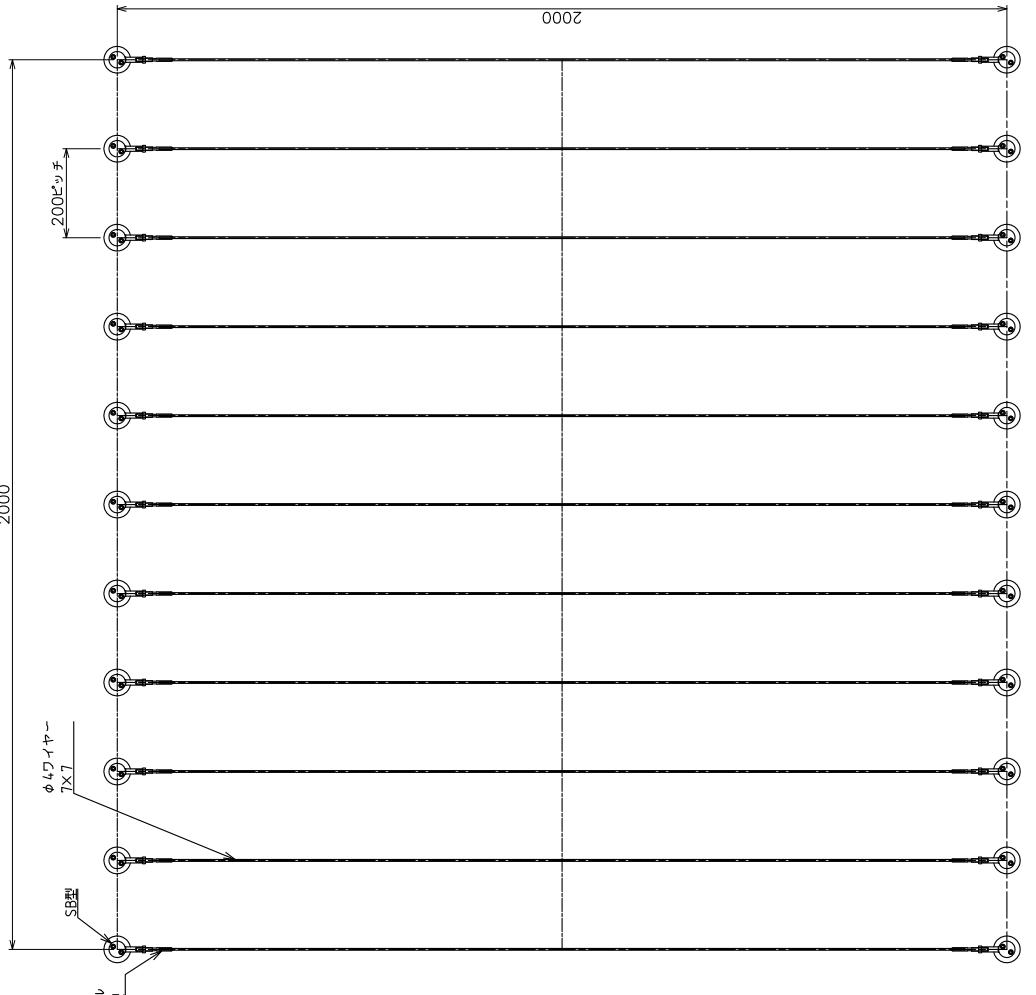
< ターミナルボルト(スイベル付) かしめワイヤー > (S=1:1)

品名	WB-M 2Wayワーロック	7	(2M×2W) 個	材 料
型式	WB112	番	WB112K1-A	規格
作成年月	14.10.10			

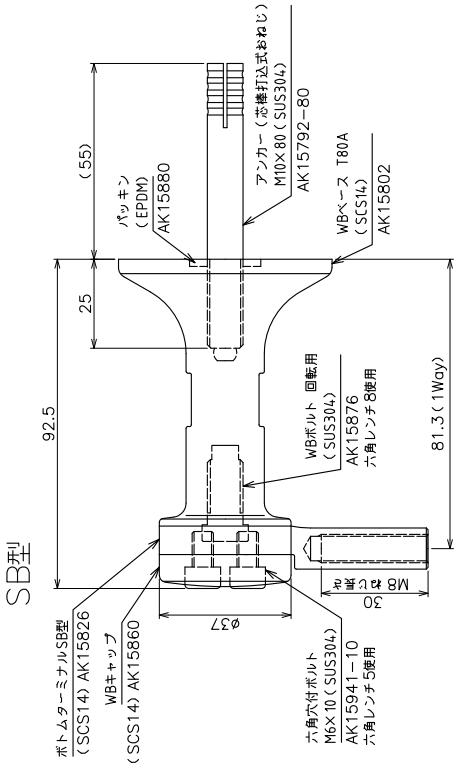
ASANO浅野金属工業株式会社



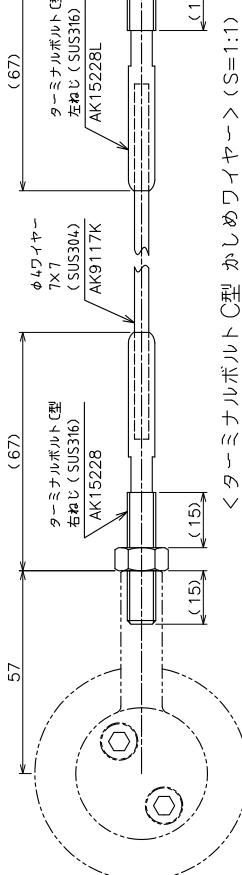
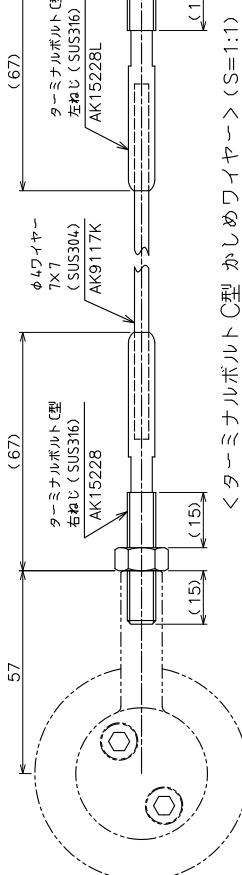
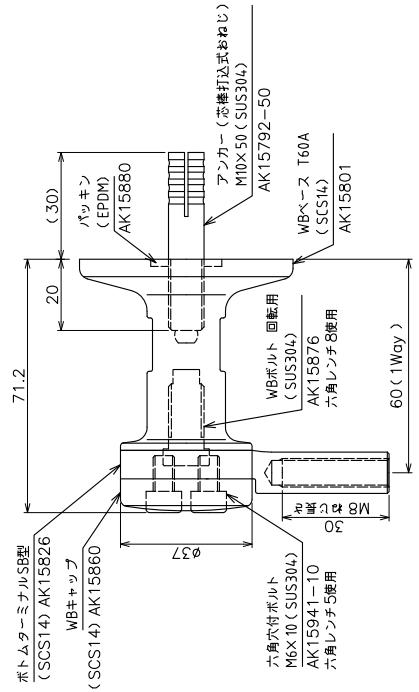




< WBベース T80A仕様 > (S=1:1)



< WBベース T60A仕様 > (S=1:1)



品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8

注1)ボトムターミナルは、右ねじと左ねじを使用します。
(左ねじの番号は末尾に-が付きます。)

< ターミナルボルトC型 かしめワイヤー > (S=1:1)

品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8

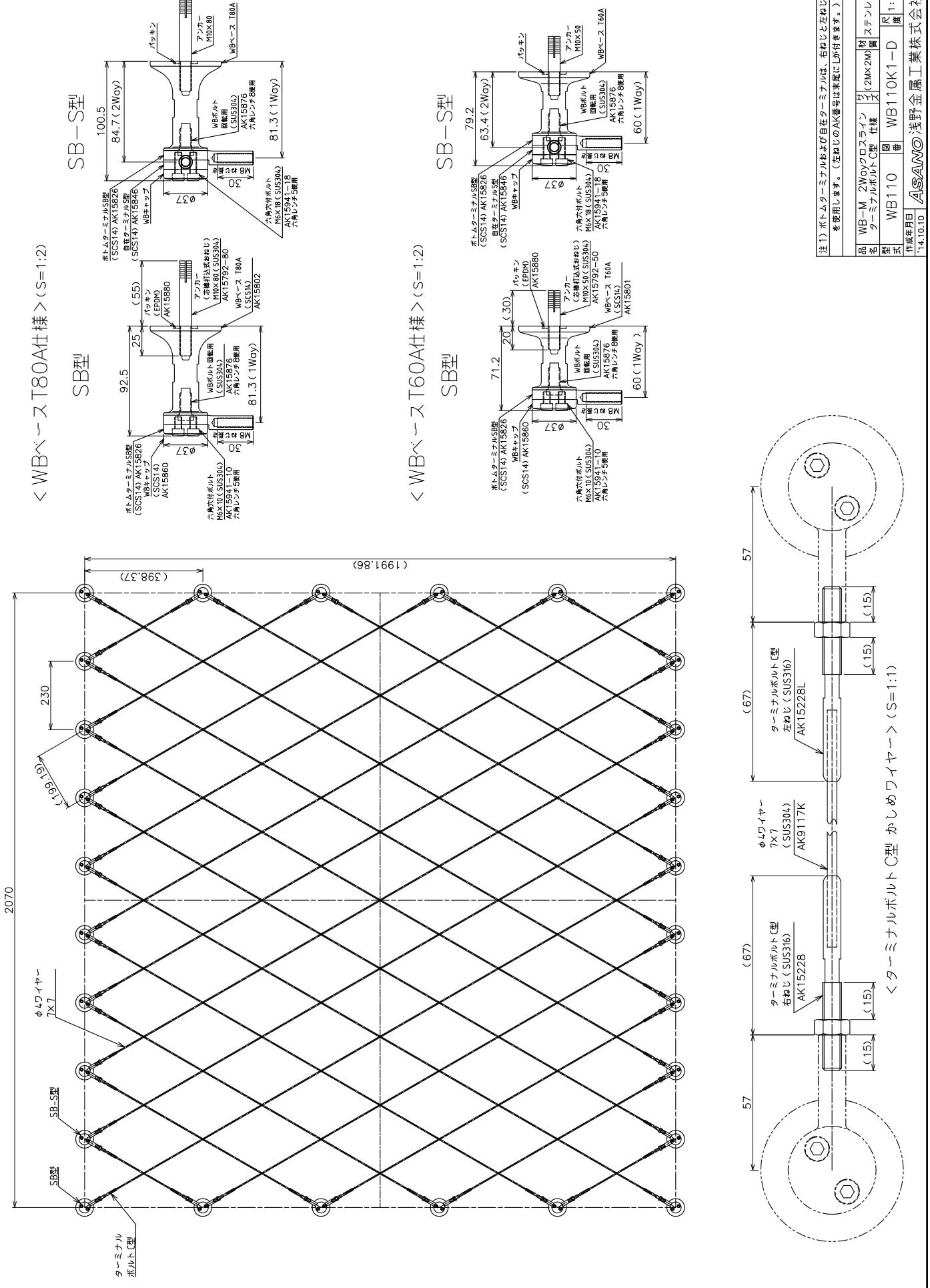
品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8

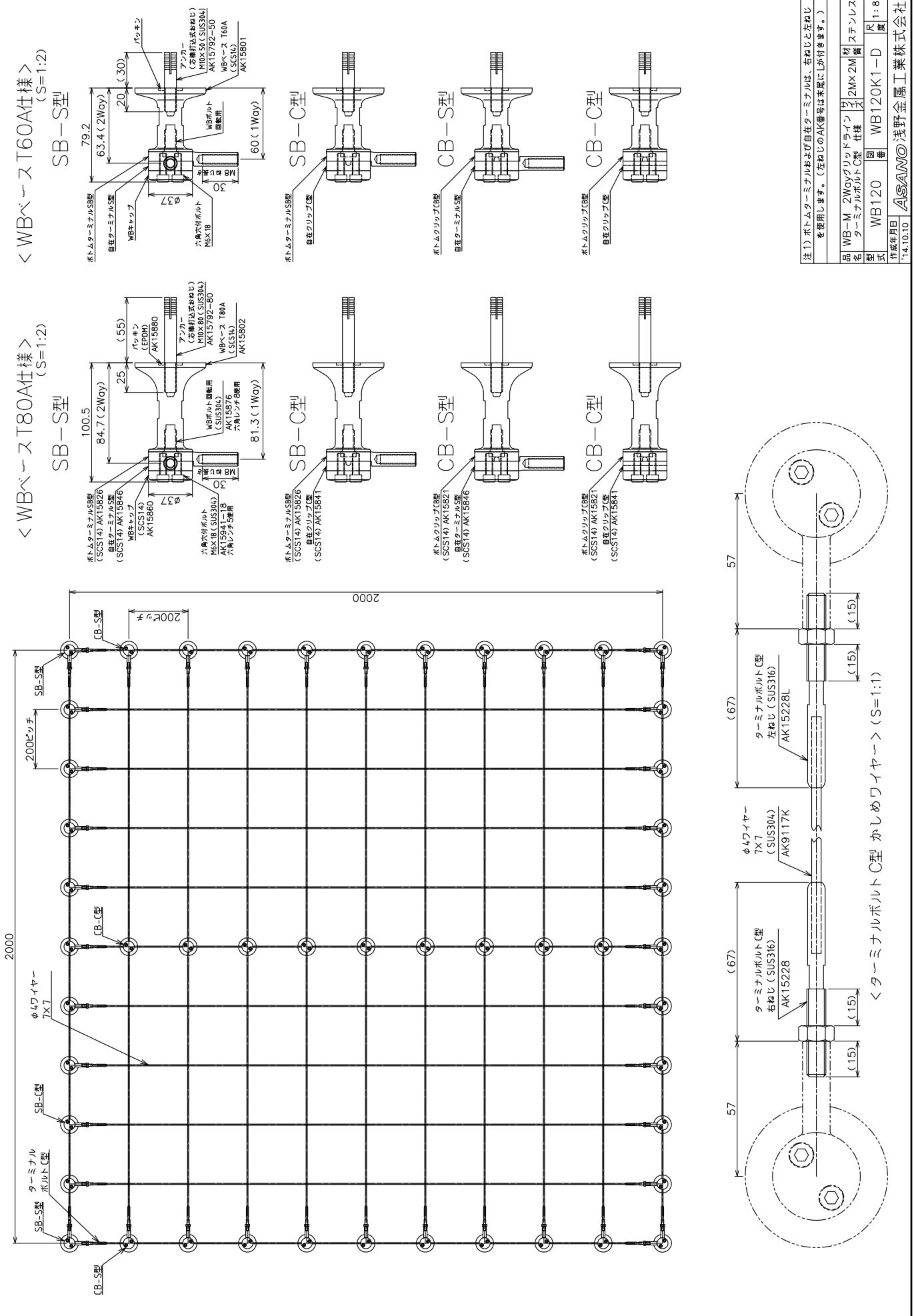
品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8

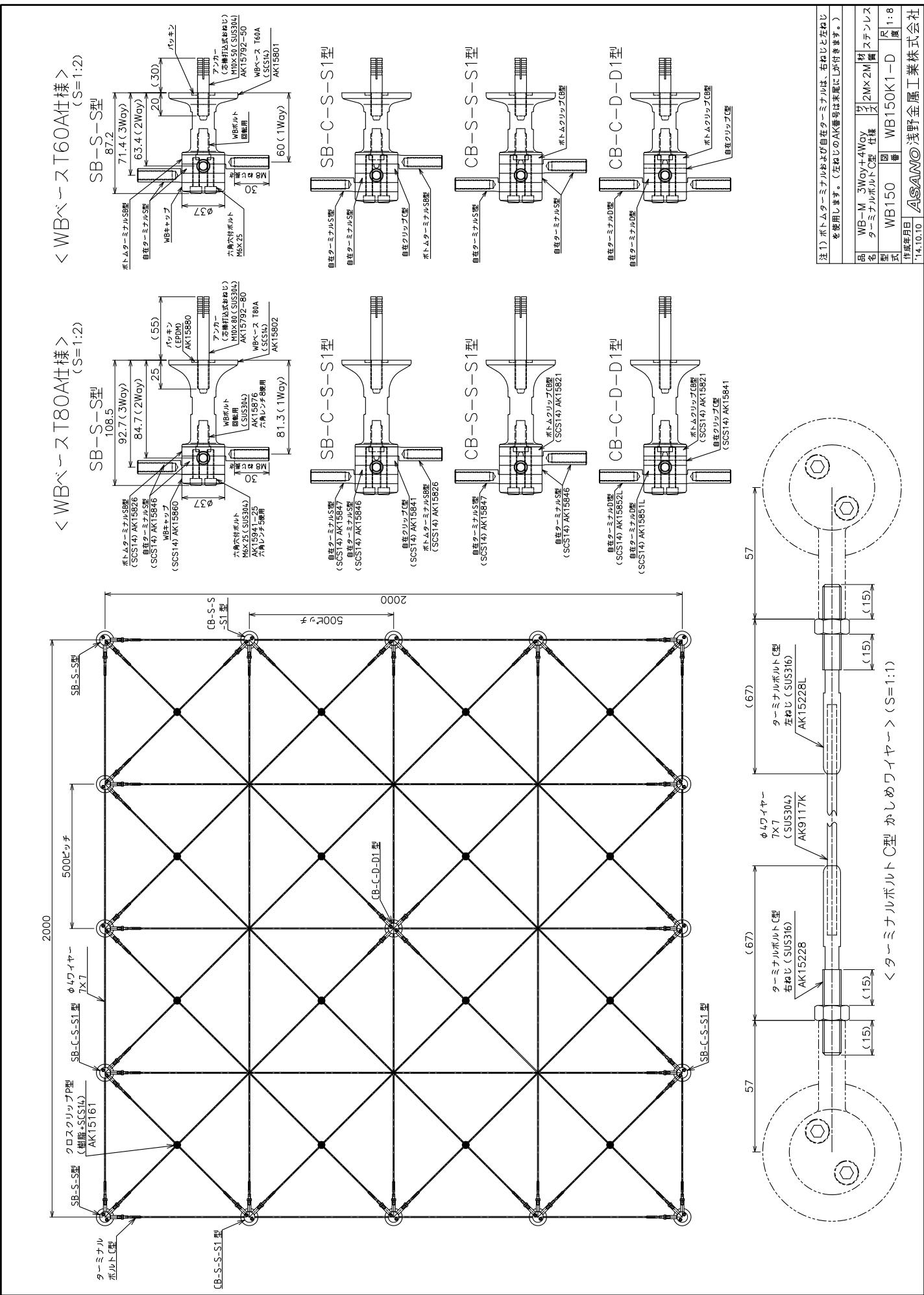
品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8

品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8

品名	WB-M 1Wayタイプ	規格	2M×2W材
型式	WB100	規格	WB100K1-D
作成年月	'14.10.10	規格	R 1:8





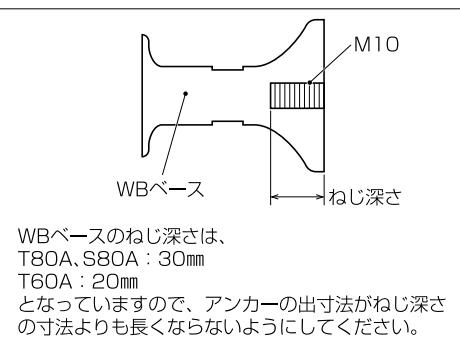
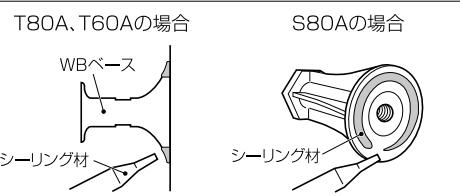
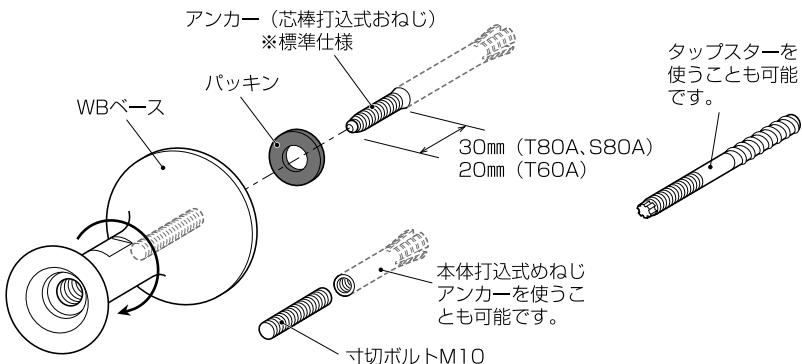


— Wire Bracket System 施工方法 —

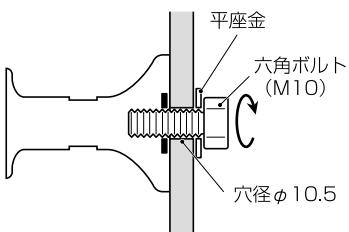
アンカー施工について

- アンカーの取付位置を間違えるとワイヤーの長さが合わず取り付けできなくなりますので、所定の位置に取り付けてください。
- 予め、軸体の強度が十分耐えうることを確認した上で、アンカー施工を行ってください。
- シーリング材をWBベースの座に塗布し、シールしてください。(※右図参照)

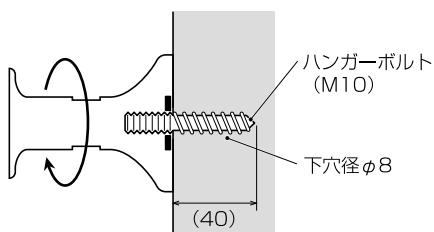
コンクリート(RC)壁面



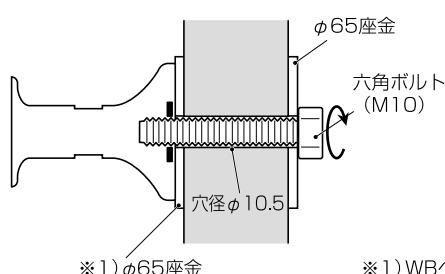
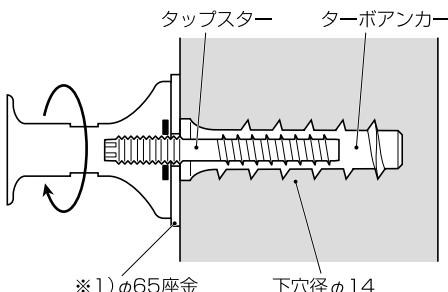
鉄骨などの鋼材壁面



木材壁面

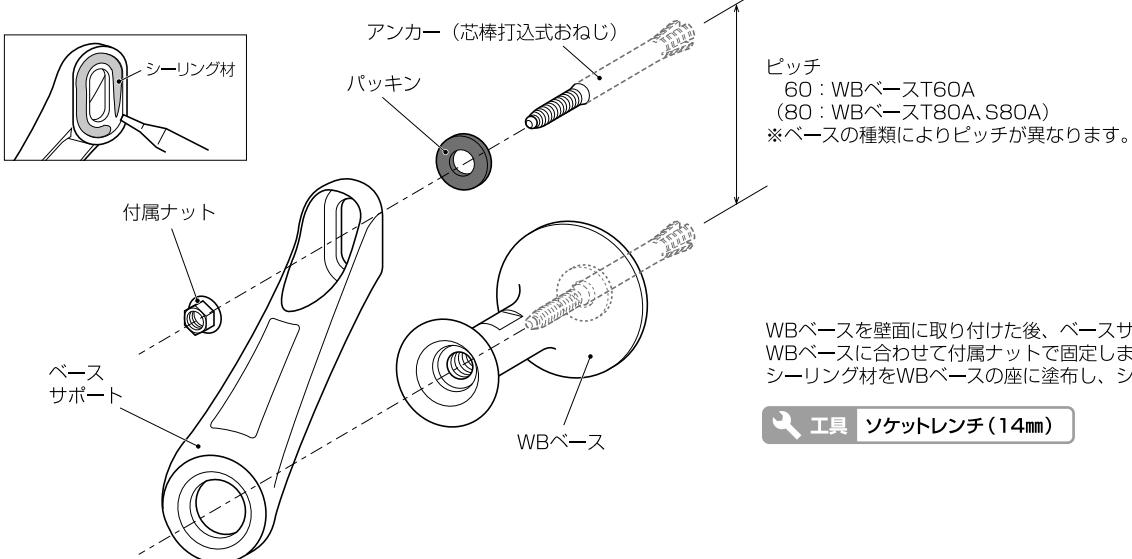


軽量気泡コンクリート(ALC)壁面



※1) WBベースS80Aの場合、必要ありません。

ベースサポート取付方法

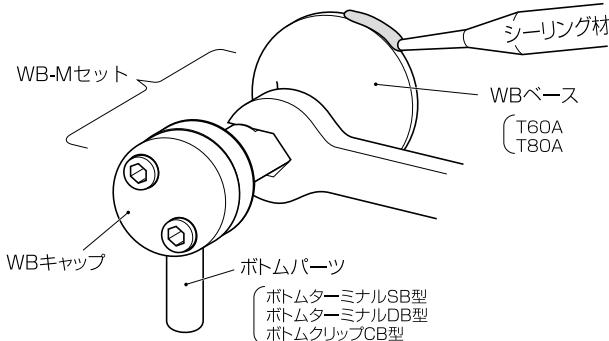


— Wire Bracket System 施工方法 —

WB-Mタイプ 取付方法

1Way line

① WB-Mセットをアンカーにねじ込みます。

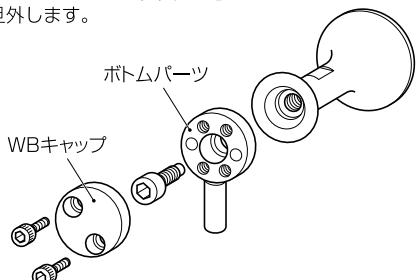


- WB-MセットはWBベース、ボトムパーツ、WBキャップが組み付けてありますので、そのままアンカーにねじ込んでください。
- WBボルトは回転用を使用しています。
- シーリング材を塗布してください。

工具 スパナ(19mm)

ベースサポートを使用する場合

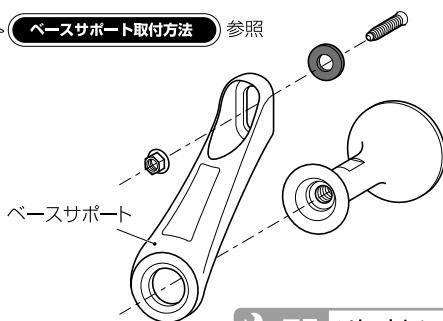
- ① ボトムパーツ、WBキャップを一旦外します。



工具 六角レンチ(5mm・8mm)

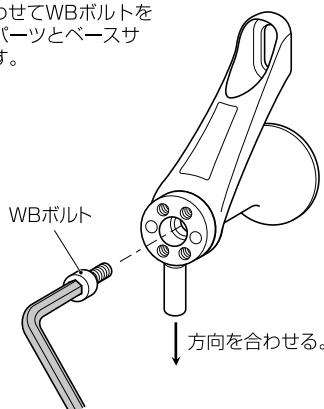
- ② ベースサポートを取り付けます。

ベースサポート取付方法 参照



工具 ソケットレンチ(14mm)

- ③ 1Wayの方向へ合わせてWBボルトをねじ込み、ボトムパーツとベースサポートを固定します。



工具 六角レンチ(8mm)

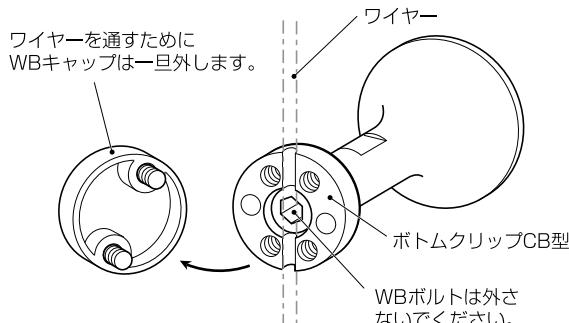
- ④ WBキャップを六角穴付ボルトで固定します。



工具 六角レンチ(5mm)

② ボトムクリップCB型を使用する場合、CB型が付いているWB-MセットのWBキャップを一旦外します。

工具 六角レンチ(5mm)

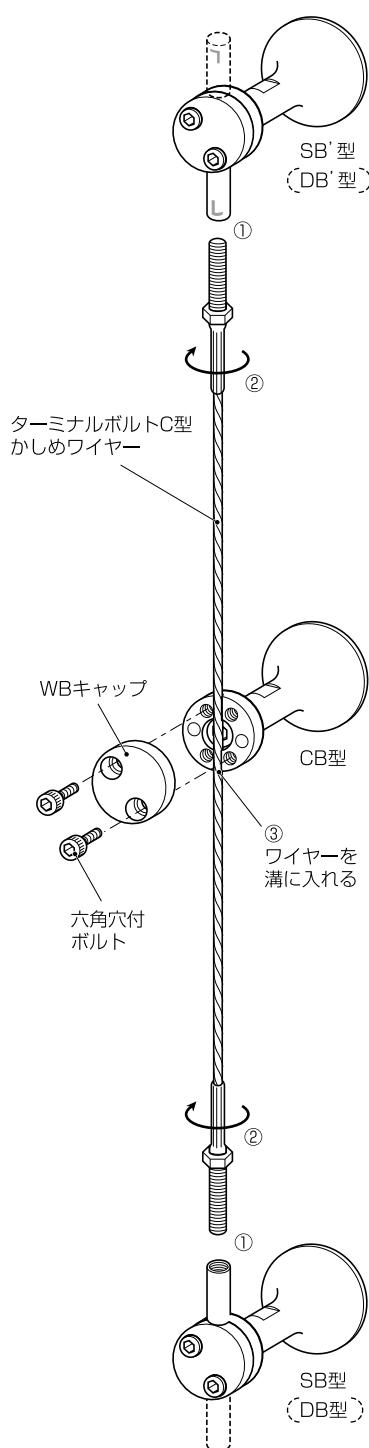


*ボトムターミナルSB型、DB型についても外す必要はありません。

*③ワイヤーの取り付けが終わったら、最後にWBキャップを取り付けてください。

3 ワイヤーの取り付け

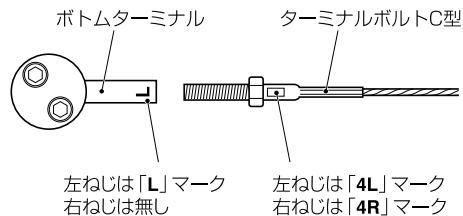
ターミナルボルトC型
かしめワイヤーの場合



ターミナルボルトC型かしめワイヤーの場合

※ボトムターミナルは右ねじと左ねじを使用します。

①右ねじ、左ねじを合わせてください。

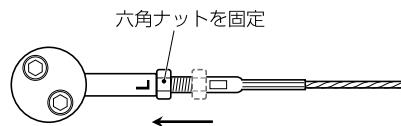


②かしめワイヤー両端を一緒に回してねじ込み、ワイヤーを張ります。

※ワイヤーを張り過ぎないように注意してください。

③ボトムクリップCB型を使用する場合は、CB型の溝をワイヤーの方向に合わせて、ワイヤーを溝に入れてください。

④ワイヤーを張ったら、かしめワイヤー両側の六角ナットをボトムターミナル側へ回して、六角ナットがゆるまないよう固定します。

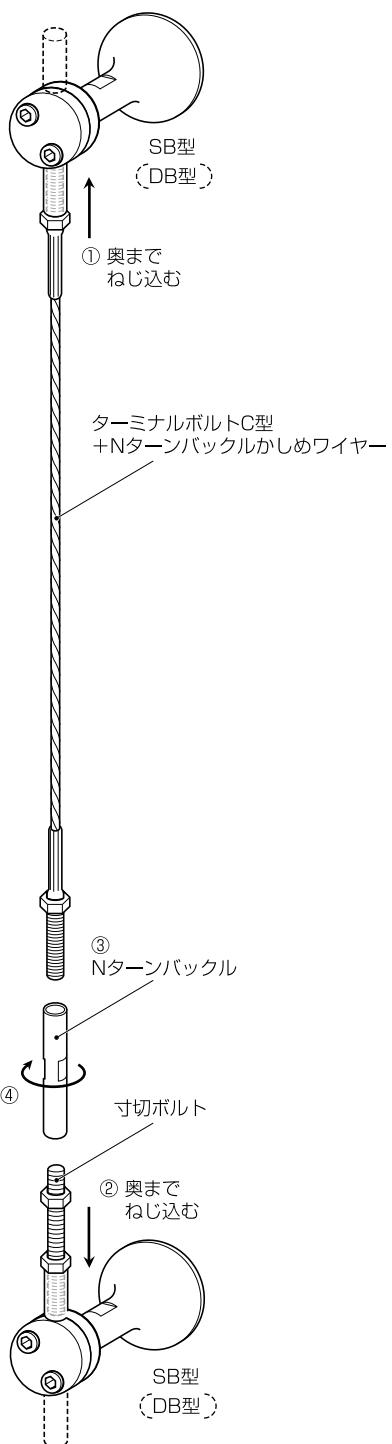


工具 スパナ(13mm・9mm)

- 上記 SB' 型、DB' 型の「」は左ねじを表します。
ターミナルボルトC型かしめワイヤーの場合は、ボトムターミナルの右ねじと左ねじを交互に使用します。

- ワイヤーを連結する場合は、DB型(DB'型)を使用します。

ターミナルボルトC型+Nターンバックル
かしめワイヤーの場合



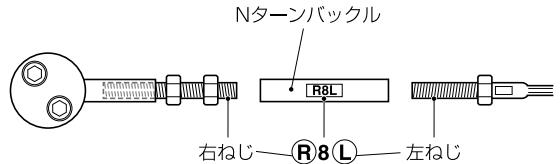
ターミナルボルトC型+Nターンバックルかしめワイヤーの場合

※ボトムターミナルは右ねじのみ使用します。

① 片側のボトムターミナルに、かしめワイヤー右ねじを奥までねじ込みます。

② 反対側のボトムターミナルに、寸切ボルト右ねじを奥までねじ込みます。

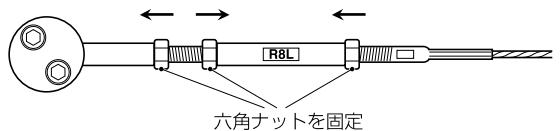
③ Nターンバックルをかしめワイヤー左ねじと寸切ボルトの右ねじに合わせます。



④ Nターンバックルを回してワイヤーを張ります。

⑤ ボトムクリップCB型を使用する場合は、CB型の溝をワイヤーの方向に合わせて、ワイヤーを溝に入れてください。

⑥ ワイヤーを張ったら、それぞれの六角ナットをボトムターミナル側、およびNターンバックル側へ回して、六角ナットがゆるまないように固定します。

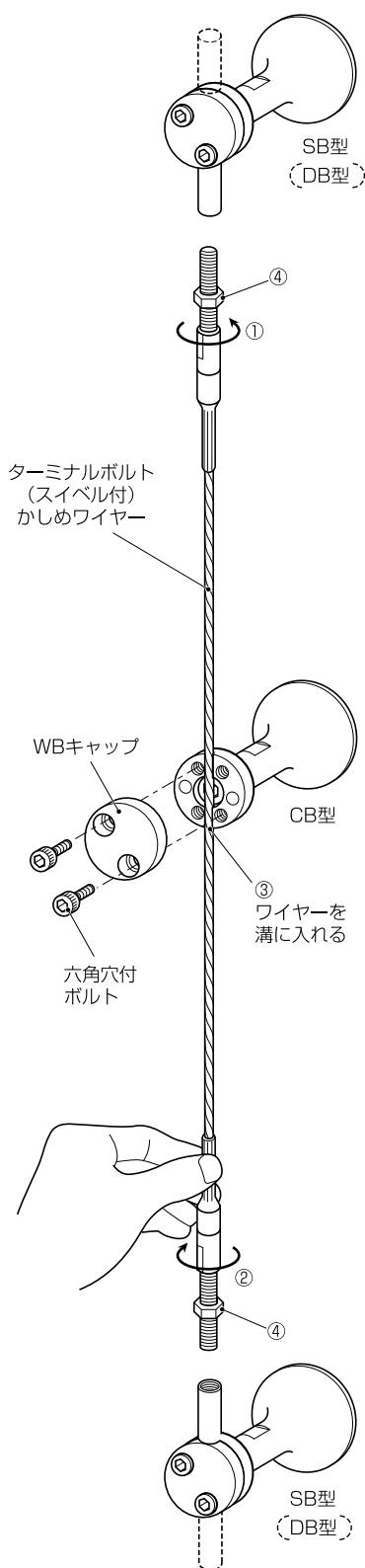


工具 スパナ(13mm・9mm)

●ターミナルボルトC型+Nターンバックルかしめワイヤーの場合、
ボトムターミナルの右ねじのみ使用します。

●ワイヤーを連結する場合は、DB型を使用します。

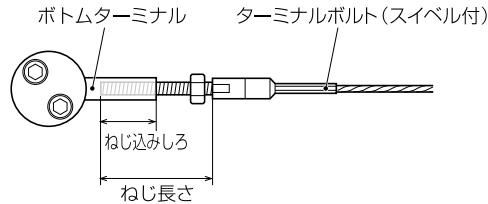
ターミナルボルト（スイベル付）
かしめワイヤーの場合



ターミナルボルト（スイベル付）かしめワイヤーの場合

※ボトムターミナルは右ねじのみ使用します。

- ① 上側のボトムターミナルに、かしめワイヤーの片側をねじ込みます。（ねじ込みしろはねじの長さの半分）

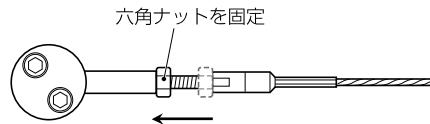


- ② かしめワイヤーのもう片方を下側のボトムターミナルにねじ込み、ワイヤーを張ります。
※ワイヤーが燃れないよう手で押えながらねじ込んでください。

ポイント

下側のねじ込みしろが少ない場合や、長い場合は、上側のねじ込みしろを調整してください。但し、ねじ込みしろは8mm以上を確保してください。
それでも調整しきれない場合はワイヤーの長さが合っていないので、作り直しが必要です。

- ③ ボトムクリップCB型を使用する場合は、CB型の溝をワイヤーの方向に合わせて、ワイヤーを溝に入れてください。
④ ワイヤーを張ったら、かしめワイヤー両側の六角ナットをボトムターミナル側へ回して、六角ナットがゆるまないように固定します。



工具 スパナ(13mm・11mm)

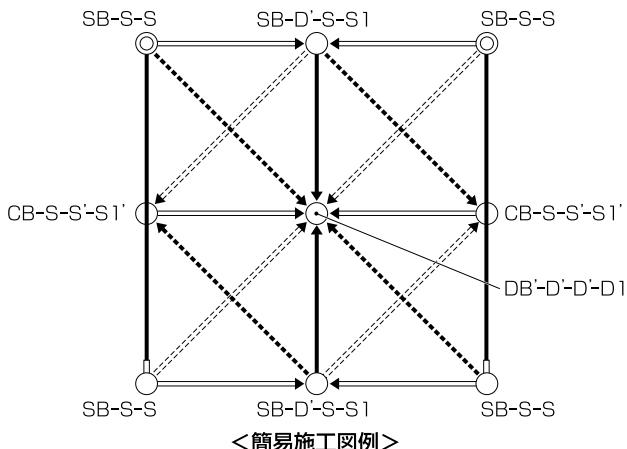
- ④ 最後にワイヤーの張り具合やボルト、ナットの締め付け具合を確認し、②で外したWBキャップを取り付けてワイヤーを固定します。

工具 六角レンチ(5mm)

— Wire Bracket System 施工方法 —

2Way～4Way line

簡易施工図の見方



●簡易施工図はWB-Mタイプ2Way以上で施工する場合に必要になります。
●簡易施工図はお客様の仕様により、当社にて製作可能ですので、お気軽に
お問い合わせください。

●○ WB-Mセット取付位置

●○ ベースサポート付

●実線 ↑ 1Way

●二重線 ← 2Way

●破線 ↗ 3Way

●二重破線 ↘ 4Way

左ねじ
右ねじ
矢印の付いている側が
左ねじになります。

●ワイヤーを通す場合は「=○=」のように線を通過させます。

●ターミナルボルト（スイベル付）かしめワイヤーの場合は、右ねじのみに
なりますので「○—○」のような表示をします。(矢先不要)

●ターミナルボルトC型+Nターンバックルかしめワイヤーの場合は、
「○—○」のような表示をします。
Nターンバックル側

WB-Mセットの名称

例)

SB - D' - S - S1

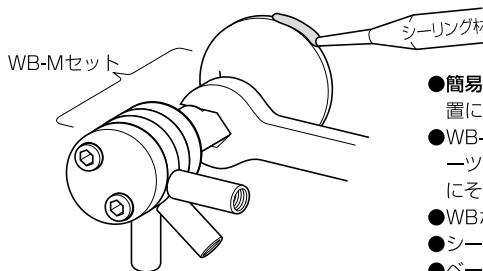
1Way 2Way 3Way 4Way
ボトム パーツ 自在 パーツ

右ねじ	左ねじ
SB型	SB'型
DB型	DB'型
ボトムクリップ	CB型
S型	S'型
S1型	S1'型
D型	D'型
D1型	D1'型
自在パーツ	自在クリップ
自在ターミナル	C型

「，」は左ねじを表しています。

1 WB-Mセットをアンカーにねじ込みます。

工具 スパナ(19mm)

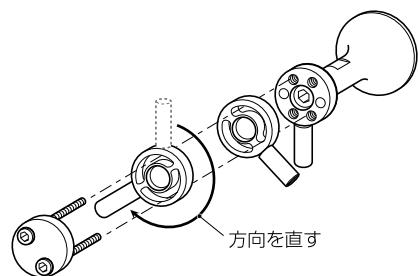


●簡易施工図に基づき、WB-Mセットを所定の位置に取り付けてください。

- WB-MセットはWBベース、ボトムパーツ、自在パーツ、WBキャップが取り付けてあります。外さずにそのままアンカーに取り付けてください。
- WBボルトは回転用を使用しています。
- シーリング材を塗布してください。
- ベースサポートを使用する際は、

1Way line ベースサポートを使用する場合
を参照してください。

※WB-Mセットの自在パーツの方向が全く違う向
きになっていたら、六角穴付ボルトを一旦外し
て、方向が合うように組み直してください。

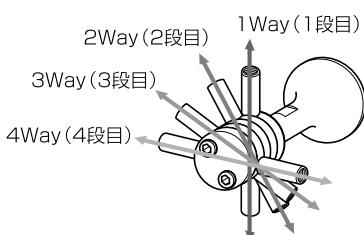


工具 六角レンチ(5mm)

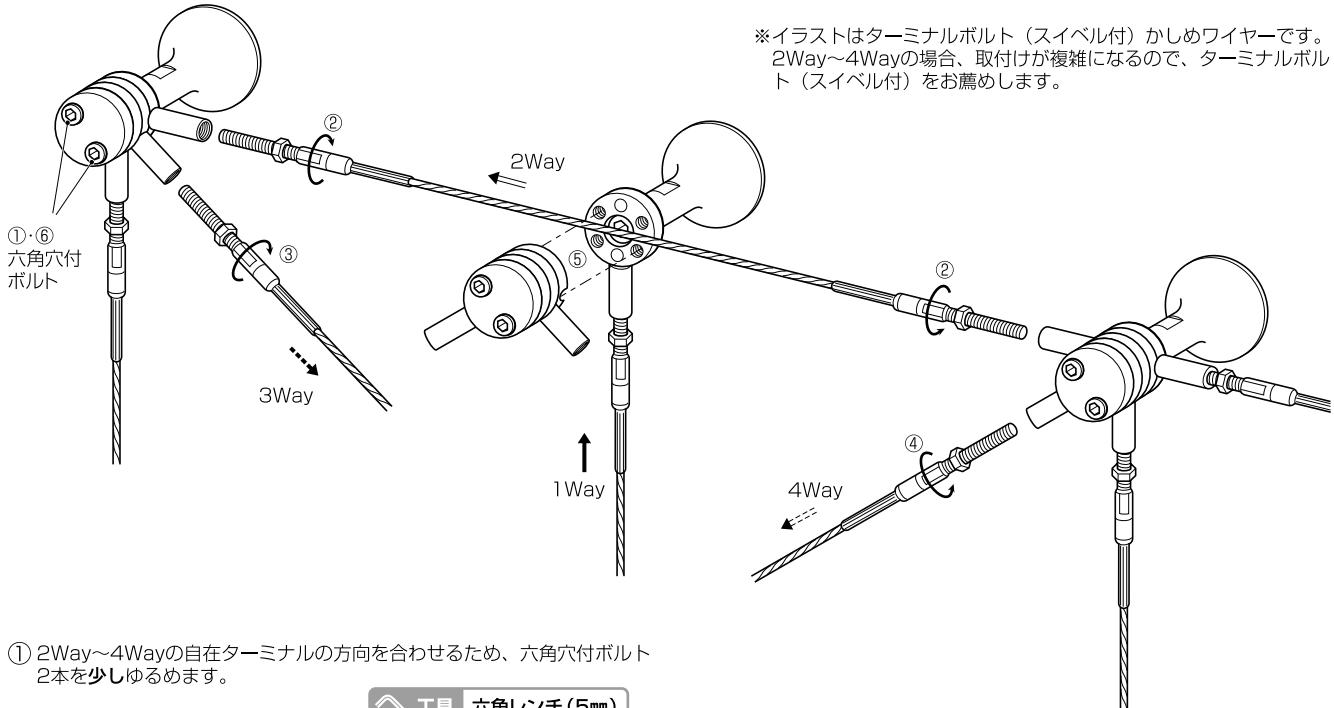
2 1Wayの取り付けをします。(※ワイヤーの取り付けは、1Way、2Way、3Way、4Wayの順に取り付けてください。)

- ①1Wayのかしめワイヤーを1Way（1段目）の
ボトムターミナルのねじに合わせてねじ込み、
ワイヤーを強めに引っ張ります。

※1Wayのワイヤーの取り付けは、
1Way line 参照して下さい。
但し、かしめワイヤーの六角ナットの固定は最
後に行いますので、まだ固定しないで下さい。



3 2Way～4Wayの取り付けをします。



- ① 2Way～4Wayの自在ターミナルの方向を合わせるため、六角穴付ボルト2本を少しうるめます。

工具 六角レンチ(5mm)

- ② 2Wayのかしめワイヤーを2Way（2段目）の自在ターミナルのねじに合わせてねじ込み、ワイヤーを軽く張ります。

※ワイヤーの取り付けは、

1Way line **3 ワイヤーの取り付け** を参照してください。

- ③ 2Wayのかしめワイヤーを全箇所軽く張ったら、次の3Way（3段目）を全箇所軽く張ります。

- ④ そして4Way（4段目）も全箇所軽く張ります。

- ⑤ 自在クリップC型を使う場合は、一旦、六角穴付ボルトを外して金具を浮かせながらワイヤーを通します。

工具 六角レンチ(5mm)

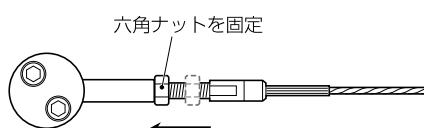
- ⑥ 全方向のワイヤーを軽く張って方向が決まつたら六角穴付ボルトを本締めします。

工具 六角レンチ(5mm)

●ワイヤーの方向が曲がらないように、手で押さえながら本締めをしてください。

- ⑦ 作業②～④で軽く張ったワイヤーを強めに緊張して、全てのワイヤーの張り具合が均等になるようにしてください。

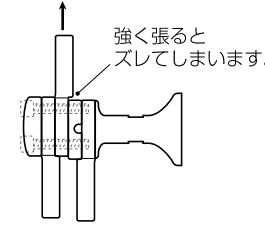
- ⑧ 最後に、かしめワイヤー両端の六角ナットをボトムターミナル側、および自在ターミナル側へ回して、六角ナットがゆるまないように固定します。1Way～4Wayまで全箇所忘れずに固定してください。



②～④のポイント

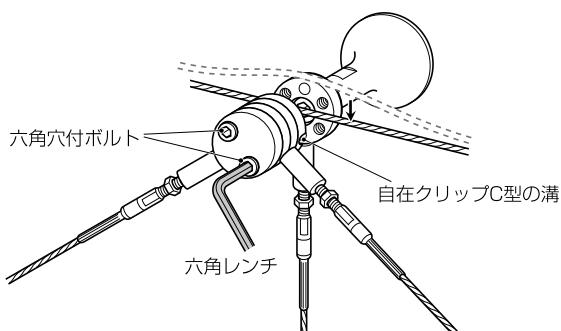
②～④の時、六角穴付ボルトをゆるめているため、ワイヤーを強く張ると自在ターミナルが引っ張られてしまうので、軽く張ってください。

※特に自在クリップC型との組み合わせはズレやすいので注意してください。



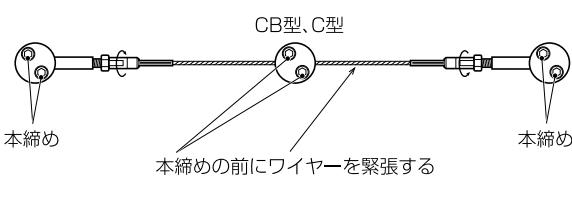
⑤のポイント

一旦、六角穴付ボルトを外し、ワイヤーを自在クリップC型の溝に合わせて、再び六角穴付ボルトを仮止めします。
(①のように少しうるめた状態です。)



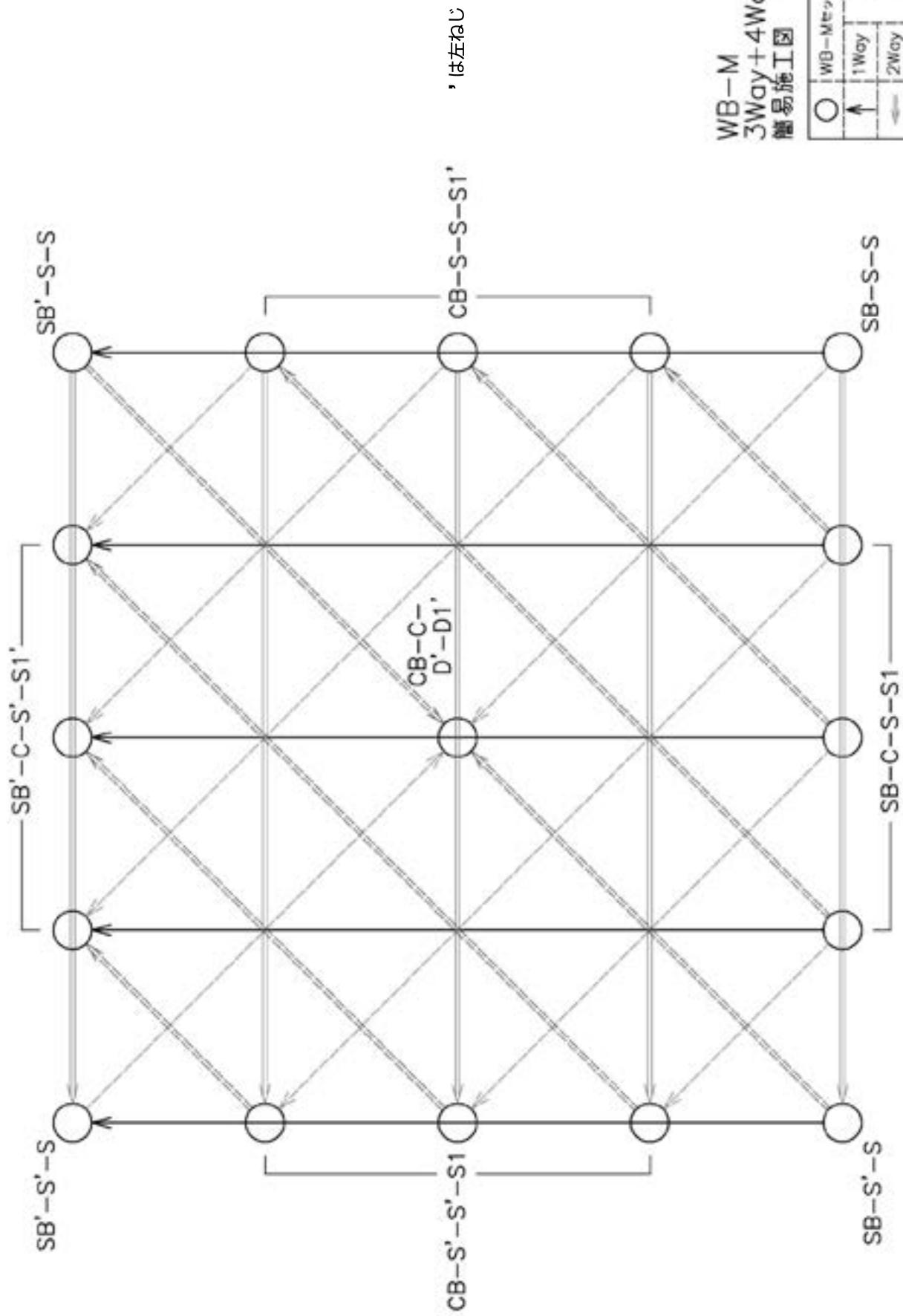
⑥のポイント

※ボトムクリップCB型や自在クリップC型を使っているWB-Mセットを本締めすると、そこを通るワイヤーを緊張出来なくなりますので、そこを通るワイヤーの両端を緊張した後（⑦の作業後）に本締めを行ってください。



WB-M
3Way+4Way
簡易施工図

	WB-Mセット導付位置
	1Way
	2Way
	3Way
	4Way
	ワイヤー通し (CB,C仕様)



⚠ 製品についての注意事項

- ①弊社では材料のみの販売を行なっており、施工は行なっておりません。施工の不備や、お客様で製品を加工された場合に生じた製品の不具合や事故には対応できませんのでご了承ください。
- ※万が一、製品納品時に製品自体の問題が確認された場合には、代替品への交換やその他の対応を取らせていただきますので弊社までご連絡ください。
- ②ステンレス製品は全く錆が発生しない材質ではありません。「点検・メンテナンス」を参照し、定期的なメンテナンスをお願いします。
- ③カタログに掲載されている製品の使用荷重は、安全に使用するための荷重を表していますので、使用荷重を超えるような荷重をかけないでください。
また、衝撃が加わると変形したり破断したりする場合がありますので、急激な衝撃を与えないでください。
- ④ワイヤーを掴んで登ったり、足がかりにするなど、人命に関わるような用途で使用しないでください。
- ⑤製品に変形や亀裂、摩耗等の異常が生じると破損する恐れがありますので、直ちに使用を中止し、製品を交換してください。
- ⑥製品のねじが緩んでいたり、外れかかっていると事故の原因になります。定期的に点検を行なってください。
- ⑦製品に過度のねじれや曲げを与えた状態で使用すると強度が低下し、破損する場合がありますので、正しい使い方で使用してください。
- ⑧製品を故意に変形させたり溶接したり等、製品を改造して使用しないでください。想定外の事故の原因になります。
- ⑨ステンレス製品に異種金属を長時間接触させないでください。腐食の原因になります。
- ⑩酸やアルカリを用いる場所や急激な温度変化を伴う環境においては、製品の強度が低下する原因になります。
そのような環境では使用しないでください。

※上記の注意事項を熟知した上で当社製品をお取り扱いください。

また、誤った使用や不適切な取り扱い等によって生じた損害については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

※掲載されている製品の仕様は、平成27年4月1日現在のものです。

※各製品のカラー写真は印刷のため実際の色とは多少異なる場合があります。

また、製品改良の為、予告なくサイズや仕様等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

点検・メンテナンス

ワイヤーブラケットシステム 一壁面緑化金具一 の点検・メンテナンスにつきましては、下記の項目を定期的に実施してください。

また、補修や部品交換などの修理に関しては、販売店(施工業者)に依頼し、取付説明書を熟読された上で正しく修理してください。

① 各部品を固定しているねじに緩みがないか。

- ねじの緩みがあった場合、増し締めをしてください。
また、ねじが欠落していた場合は、新しいねじを購入し再度組付けてください。

② WBベースの固定に異常はないか。

- アンカーの固定にガタツキがあった場合、増し締めをしてください。
またコンクリートなどの躯体に割れなどがあった場合は、補修をしてください。

③ 各部品に変形、割れ、錆などがないか。

- 変形や割れなどの異常があった場合は、その部品を新品と交換してください。
- 錆があった場合は市販の錆取り剤を使用し、研磨材で磨いて錆を除去してください。
あまりにも著しく腐食した場合は、部品の交換をお薦めします。

④ ワイヤーのたるみ、摩耗、錆などの異常がないか。

- ワイヤーにたるみがあった場合、金具を締めてワイヤーを緊張させてください。
- 断線や摩耗、腐食があった場合はワイヤーの交換をしてください。

尚、不明な点などがありましたら、当社もしくは販売店(施工業者)へお問い合わせください。

ワイヤーブラケットシステム 一壁面緑化金具一 DXF/PDFデータCD-ROM



本システムのDXFデータ、PDFデータをご要望の際は
担当営業までご請求ください。